

歯科衛生士のための

これだけは知っておきたい

全身管理のための知識

社団法人 日本歯科衛生士会

目 次

1. チーム医療のための医学用語……………	1
2. 主な全身疾患の分類……………	29
3. 代表的な薬の分類……………	30
4. 知っておきたい検査データ……………	51

チーム医療のための 医学用語・欧文略語

【あ】

アイ・エム ^{アイエム} ^{イントラマスキュラー} IM (intramuscular) 筋肉(内)注射
薬液を筋肉内に投与すること。皮下注射よりは吸収が速く、
静脈注射よりは吸収が遅い。

(例) この薬液はアイ・エムで実施してください。

アイテル、パス ^{アイテル} ^{パス} Eiter (独) pus (英) 膿(うみ)
炎症部が化膿して生じる黄白色、または黄緑色の粘液。白
血球や多核白血球で作られた蛋白分解酵素と組織分解酵
素によって液化した細胞・組織成分、菌の死骸などを含む。

(例) 傷を保護しているガーゼに緑色のパスが付着してい
ます。

アイバンク ^{アイ} ^{バンク} eye bank 眼球銀行
角膜移植に必要な角膜を保存し、提供する機関。

アイ・ブイ ^{アイブイ} ^{イントラヴイナス} IV (intravenous) 静脈(内)注射
薬液を静脈ルートで投与すること。
(例) 吐き気に対してプリンペランをアイ・ブイしていま
す。

アイ・ブイ・エイチ ^{アイブイエイチ} ^{イントラヴイナス} IVH (intravenous
^{ハイパーアリメンテーション} hyperalimentation) 中心静脈栄養(高カロリー輸液)
鎖骨下などの太い静脈から心臓またはその近くまでカテ
ーテルを挿入し、高カロリーの輸液を持続的に点滴投与す
る方法。経口摂取が不可能または不十分な場合の栄養補給。
(例) OOさんは現在アイ・ブイ・エイチで栄養管理をし
ている。

アウス ^{アウスクラゼン} ^{ダイレイション} ^{アンド} ^{キュレットイジ} auskratzen (独) dilation and curettage,
^{アボーション} ^{インターラプテッド} ^{プレグナンス} abortion, interrupted pregnancy (英) 妊娠中絶、掻爬
妊娠期間中に人工的な手段によって胎児と胎盤を排出さ
せること。異物を摘出するための鋭いさじ型の器具を
「curette」といい、「curretage」は、これを用いて掻爬
すること。

(例) 未成年にアウス実施者が高いのは問題です。

アクシデント ^{アクシデント} accident 事故
医療事故をさす場合もあり、医療にかかわる場所、医療の
全過程において発生する事故に使用される。

関連語: ^{アクシデント} ^{レポート} accident report 事故報告書
^{インシデント} ^{レポート} incident report インシデント報告書

あくえきしつ 悪液質

重症の結核、糖尿病、内分泌疾患、血液疾患、悪性腫瘍な
どによって起こる全身的な衰弱状態。浮腫、色素沈着、極
度のやせなどを生じる。

アシドーシス ^{アシドシス} acidosis アシドーシス
体内の酸塩基平衡(pH7.4)を酸性側にしようとする病的過
程。Phが基準域を下回った状態を「酸(性)血症」という。

関連語: ^{アルカローシス} alkalosis アルカローシス
(例) 動脈血水素イオン濃度はアシドーシス。アセトン尿。
ディー・エムによるケトアシドーシスでしょう。

アスコルビン酸 ^{アスコルビック} ^{アシッド} ascorbic acid ビタミンCの化学名
ビタミンCとしての働きをもつ有機化合物の一種。

アストマ、アズマ ^{アストマ} ^{アズマ} athtoma (独) asthma (英) 喘息
もとは「呼吸困難」の意味で、現在は気管支喘息をさす。
関連語: ^{アスマティック} ^{アタック} asthmatic attack 喘息発作

(例) 今日の外来はアストマ(アズマ)患者が多い。

アスロー検査 ^{エーエスエルオー} ^{アンチストレプトリジン} ^{オー} ASLO (antistreptolysin O) 血清学的
検査の一つ
リウマチ熱の原因となる溶連菌感染の有無をストレプト
リジンOに対する抗体価によって調べる。

アセスメント ^{アセスメント} assessment 評価、査定
患者の身体的・心理的・社会的状況を含め、全体像を得る
ための、観察などを通して主観的・客観的情報を収集し、
論理的に分析して看護上の問題を明らかにすること。
関連語: ^{フィジカル} ^{アセスメント} physical assessment フィジカルアセスメント、
フィジアセ

(例) 腹部のフィジアセ(フィジカルアセスメント)の結果
をどう判断しますか?

アタック ^{アタック} attack 発作
失神、虚脱、ショックのような生命機能の異常または臨床
症状が突然出現する状況。
関連語: ^{ハート} ^{アタック} heart attack 心臓発作

(例) ハートアタックは午前0時30分に起こりました。

(例) 今朝の外来はアストマのアタック患者が多い。

あっこん 圧痕
骨などの硬い組織から脳などのやわらかい臓器にいたる
まで、ほかの組織や液状物質の圧迫によって、局所に凹み
や変色が生じたもの。指圧痕など。

あつつう 圧痛
圧迫により生じる痛み。

アッペ、アペ ^{アペンダサイティス} appendicitis 虫垂炎
右腸骨窩にある虫様の突起の炎症のことで、腹痛、嘔吐、
発熱などを主症状とする。臨床の現場では、虫垂炎は単に
「アッペ」と略称で呼ばれることが多い。「-itis」は「炎
症」を意味する接尾辞。

関連語: ^{アペンデクトミー} appendectomy 虫垂切除 (-ectomy=切除)
^{アペンディックス} appendix 虫垂

(例) アップの患者が移送されてきますので、緊急オペの用意をお願いします。

アディクト ^{アディクト} addict 中毒
薬物依存症を生じた患者。

アデノイド ^{アデノイド} adenoid 扁桃の増殖性肥大症
咽頭リンパ組織の一つである咽頭扁桃の肥大

アデノーマ ^{アデノーマ} adenoma 腺腫
腺の腫瘍で、通常は良性。アポクリン腺腫、副腎皮質などがある。

アテレク ^{アテレクシス} atelectasis, ^{パルモナリティ} pulmonary ^{コラプス} collapse 無気肺
術後、人口呼吸器管理下に多い合併症の一つ。肺の一部、または全体にガスのない状態。臨床現場では「アテレク」と略して使用することが多い。

(例) X線の所見でアテレクがみられます。

アテローム、アテローマ ^{アテローム} atheroma 腫瘍、粥腫
動脈内膜の脂質沈着。口外でも使用しています。

関連語: ^{アテロスクレロシス} atherosclerosis 動脈の粥状硬化症

アド(ミッション) ^{アドミッション} admission 入院
患者などが病院や医院などに入ること。予定入院や緊急入院などの形態がある。現場では「アド」と略して使用したり、「ad」と記載する場合もある。

(例) 予定入院の〇〇さんがアドしてきました。

アトニー ^{アトニー} atony 脱力、無緊張
筋緊張が減弱あるいは消失した状態。胃アトニー、膀胱アトニーなどがある。

アトピー ^{アトピー} atopy アトピー素因
IgE抗体を産生しやすい素因。即時型アレルギー反応を起こしやすく、湿疹、花粉症、喘息などを発症しやすい。

アドレナリン ^{アドレナリン} adrenalin ホルモンの一つ
副腎髄質から遊離されるホルモン。血圧や血糖値を高める作用がある。

アナフィラキシーショック ^{アナフィラキシー} anaphylactic ^{ショック} shock アナフィラキシー(薬物過敏症など)の重篤なショック状態
アナ(反対)フィラキシス(防護状態)の激しい症例。ハチ毒、食物、薬物などが原因になることが多い。急激な血圧低下、呼吸困難などが起こり、死ぬこともある。

アナムネ(一ゼ) ^{アナムネーゼ} anamnese(独) ^{メディカル} medical ^{ヒストリー} history(英)
看護歴、既往症

入院前の生活リズムや既往歴などを、入院時に患者や家族から聴取した情報を記載した記録をさす。「看護歴」のことをいう場合もある。

(例) 先ほど入院してきた患者のアナムネはもうとりまし

たか?

(例) アナムネから既往歴を知ることができる。

(例) アナムネの記載は簡単明瞭にしてください。

アニーミア ^{アニーミア} anemia 貧血

赤血球数またはヘモグロビン量が基準値以下になる状態

アニソコリア ^{アニソコリア} anisocoria 瞳孔不同

2つの瞳孔の大きさが異なる状態。原則として左右同じ大きさであるが、左右の差が0.25以上の場合はアニソコリアと診断される。aniso-は「不同」または「不等」を意味する連結語。

(例) アニソコリアの有無はどうでしたか?

アノレキシア ^{アノレキシア} ^{ネルボーザ} ^{ネルボーザ} anorexia nervosa

神経性食思不振症、神経性食欲不振症

心理的要因で、食べ物を摂取しなくなる代表的な摂食障害。思春期の未婚女性に多く、死に至ることもある。

(例) 10代の女性にアノレキシアネルボーザの人が多い。

アビュース ^{アビュース} abuse 薬物乱用、虐待

薬物の非合法的な使用、乱用。また、幼児・高齢者・配偶者などの虐待。

アプガースコア ^{アプガー} ^{スコア} ^{アピアランス} ^{パルス} ^{グリメイ} ^{アクティビティ} ^{レスピレーション} ^{スコア} Apgar score (appearance-pulse-grimace-activity-respiration score) 出生児の容体(外観・心拍数・泣き顔・活動・呼吸など)点数

出生した直後の新生児の状態を得点化し、評価することで、そのときの赤ちゃんの状態、今後の治療の必要性、予後などを予測する方法。点数は、心拍数、呼吸、筋緊張反射、咽頭反射、皮膚色調などに基づいてつける。

(例) この赤ちゃんのアプガースコアは9点です。

アフタ ^{アフタ} aphtha 口腔内潰瘍

直径1~3mmで、口腔粘膜に好発する円形で有痛性の浅い潰瘍。周辺に粘膜発赤がみられる。口内炎。

アプニア ^{アプニア} apnea 無呼吸

一時的に呼吸が停止した状態。呼吸停止。短時間の無呼吸は過換気などによっても起こる。

関連語: ^{スリーピング} ^{アプニア} sleeping apnea 睡眠時無呼吸

(例) ときどきディスプニアがみられ、10秒ほどアプニアもあります。

アポ ^{アポプレクシー} ^{アポプレクシー} apoplexie(独) apoplexy(英) 脳卒中、脳溢血

最近では「stroke」や「CVA」が使われる。CVA (cerebral vascular/cerebrovascular accident)は、脳血管障害。

(例) この患者をCVA(アポ)の疑いで緊急入院させます。

アボーション ^{アボーション} abortion 流産、墮胎、中絶

正常に着床せず妊娠に至らない場合をケミカル・アボーション(科学的流産)という。

アミノ酸 ^{アミノ アシッド} amino acid アミノ酸

蛋白質の加水分解によって生じる有機化合物の総称。

アミロイドーシス ^{アミロイドーシス} amyloidosis アミロイド症

アミロイドの細胞外蓄積を特徴とする。局所性、全身性
疾病で、類でんぷん症とも呼ばれる。

アルコール依存症 ^{アルコール ディペンダンス} alcohol dependence アルコール依存症

エチルアルコールの過剰摂取に対する抑制障害を主徴
候とし、精神依存、身体依存、耐性上昇がある。

関連語: ^{アルコールイズム} alcoholism アルコール中毒症

アルサー ^{アルサー} ulcer 潰瘍

粘膜の病巣のこと。表層の組織欠損によって生じる。

(例) アルサーは輪郭がくっきりしており、色素沈着も
少ないので、初期のステージでしょう。

アルツハイマー病 ^{アルツハイマーズ ディゼーズ} Alzheimer's disease 認知症の一つ
広範な脳の萎縮で痴呆、神経症状などを生じる全般的な
脳の変性疾患。

アルブミン ^{アルブミン} albumin 単純蛋白質

生体細胞や体液中の単純蛋白質。水によく溶ける。

アレスト ^{アレスト} arrest 停止状態、抑止

rest(休息、休憩、停止)と語源的には同じで、「静止(停
止)させる」、あるいは「静止(停止)した状態」をざす言
葉。病気の進行を止めるという意味で用いる場合もある。

関連語: ^{カーディアック アレスト} cardiac arrest 心停止

^{レスピラトリー アレスト} respiratory arrest 呼吸停止

アレルゲン ^{アレルゲン} allergen 抗原性物質

IgE 抗体を産生させ、アレルギーの原因となる抗原性物質
を総称していう。

アロマセラピー ^{アロマセラピー} aromatherapy 芳香療法

アロマ(芳香)をもつ植物油を使って、心と体の安定を目的
とした療法。マッサージや入浴、吸入、湿布などを用いる
方法がある。

(例) 不眠の患者にアロマ足浴を実施してみよう。

アンギオ ^{アンジオグラフィ} angiography 欠陥造影法

血管造影剤を入れて撮影する方法。臨床の現場では「アン
ギオ」と略して使用することが多い。

(例) アンギオ行います。コントラストお願いします。

アンギナ ^{アンジャイナ ベクトリス} angina(pectoris) 狭心症

前胸部の痛みを主な症状とする症候群。発作時はニトログ
リセリンが即効。通常の発作は数分以内である。「AP」
と略して使用されることもある。

関連語: ^{アンスタブル アンジャイナ} unstable angina 不安定狭心症

(例) アンギナの患者が入院してきます。

アンビュー(バッグ) ^{アンビュー バッグ} ambu bag 送気バッグ

緊急時の呼吸停止時、人工呼吸に用いる器具。

(例) 挿管するので、大至急アンビューをもってきてくだ
さい。

アンブタ ^{アンピュテーション} amputation 切断

肢(あし)または肢の一部、その他の器官の突出部分を切
り取ること。

関連語: ^{エー ケー アンピュテーション アバフ ザ ニイ} A-K amputation(above the knee)

膝上からの切断

^{アンプテ} amputee 切断手術で手足を失った人

(例) 交通事故で受傷した下腿が壊死し、アンブタを実
施した。

アンブル ^{アンブル} Ampule(独) ^{アンブル} ampule(英) 密封容器

「アンブル」はラテン語の「^{アンブラ}ampulla(ビン)」に由来する
といわれる。1回分の注射薬などを入れた容器をさす。

(例) この天敵にはガスター1アンブル混注しています。

あんぼう 電法

からだの一部に温熱刺激または寒冷刺激を加えることで、
循環器系や神経系、筋系に作用を与え、疼痛の緩和、治療
の促進をはかる方法。

【い】

イー・シー・ジー ^{イーシージー エレクトロカーディオグラム} ECG(electrocardiogram)

心電図(エレクトロカルディオグラム)

心筋の活動によって生じる2点間の電位差の変動を心電
計により描写したもの。

(例) いまからイー・シー・ジーをとります。

イアトロジェニック ^{アイアトロジェニック} iatrogenic 医原性の

医療が原因の(病気、障害)。

(例) 患者の気胸はイアトロジェニック。カテ挿入による
ものかもしれません。

いしききょうさく 意識狭窄

複雑な意識障害。意識の広がり狭くなった状態。特定の
対象しか意識されなかったり、逆に特定の対象だけが意識
されない状態。

いしきこんたく 意識混濁

意識障害の中で軽度のをさし、意識の清明度の障害
(低下)を特徴とする。

いしきしょうがい 意識障害

知覚・思考・注意・認知・判断・記憶などの精神活動の障
害のことで、一過性ないし持続性のものをいう。

イリゲーション ^{イリゲーション} irrigation 洗腸、腸洗浄

腸の内視鏡検査や手術前に糞便から排出させる目的で行
われる。イリゲーターで浣腸すること。

関連語: ^{イリグイト} irrigate 洗浄

(例) 明日は内視鏡検査があるので、朝8時からイリゲー
ションをしてください。

イレウス ^{イレウス} ileus 腸閉塞症

腸不通症、腸管閉塞症、吐糞症など、便やガスが通過できないで腸内に停滞してしまう病態。発熱や脱水、腹部膨満、嘔吐などを伴う。

(例) 開腹術のオペ後、イレウスを起こしたようです。ドクターが「コロンガスがたまっている」といっていました。

イン・アウトバランス ^{インアウト} in-out balance 入出均衡(バランス)
水分や電解質、栄養素などの出入り。水分であれば、イン(intake)は食事の水分やお茶、点滴など、アウト(output)は尿量や発汗量、ドレーン排液など。

(例) 1日のイン・アウトバランスを出してください。

インジェクション ^{インジェクション} injection 注射、注入
薬品や栄養物を皮下組織(皮下注射)、筋肉内(筋肉内)、静脈内(静脈注射)などに注入すること。

(例) OOさんのインジェクションは何を準備すればいい?

インシデント ^{インシデント} incident できごと
間違いがあっても事故に至る前に気づいたりしたことで、「ヒヤリ」としたり、「ハッ」としたことを言う。

関連語: incident report ^{インシデント} ^{レポート} インシデント報告書

(例) インシデントレポートを提出し、事例を共有しましょう。

インス[シュ]リン ^{インスリン} insulin ホルモンの一つ
膵臓ランゲルハンス島から分泌されるホルモン。体内で糖を分解する働きをもつ。

インターフェロン ^{インターフェロン} ^{アイエフエス} interferon(IFN) ウイルス抑制因子
ウイルス感染細胞や腫瘍細胞で作られる蛋白質。ウイルスの増殖を抑制する抗腫瘍作用もある。

インターロイキン ^{インターロイキン} ^{アイエル} interleukin(IL) 蛋白質の一つ
免疫の形成に関係するリンパ球の増殖、分裂を誘導する因子で、サイトカインの一つ。

インビトロ ^{イン} ^{ヴィトロ} in vitro 生体外の、試験管内で
「ガラスの容器内で」という意味。生体から取り出した酵素などを、試験管内で体内同様に機能・反応させるときに用いられる言葉。

インビボ ^{イン} ^{ヴィボ} in vivo 生体内で
インビトロに対する言葉。体内での機能や反応について用いられる言葉。

(例) この結果は、あくまでインビトロで得られたもので、インビボの反応はわかりません。

インフェクション ^{インフェクション} infection 感染
体内に種々の微生物が入って寄生し、増殖すること。その結果、生体が障害を受け、病的に変化すると感染による発

症となる。

関連語: infection control ^{インフェクション} ^{コントロール} 感染管理
C I C N (Certified Infection Control Nurse) ^{シーアイシーエス} ^{サーティファイド} ^{インフェクション} ^{コントロール} ^{ナース}
感染管理認定看護師

(例) 結核疑いの患者が入院してくるので、対応方法をインフェクションコントロールナースに連絡して相談しましょう。

インフォームドコンセント ^{インフォームド} ^{コンセント} informed consent
説明と同意、納得診療
Informは(口頭、書面で)知らせる、consentは(考えや提案に)同意する、承諾するという意味。①診断結果、②症状、③検査の内容や目的、④治療の成功率と危険性や副作用、⑤これらの治療を拒否した場合に予想される結果、などを医療側が患者に正しく伝え、患者が理解・納得し、同意を得ることをさす。

(例) 治療の前にはインフォームドコンセントが必要です。

(例) この治療に対するインフォームドコンセントはできているのですか?

【う】

ウロ ^{ユーロロジー} urology 泌尿器科、泌尿科学
主に腎臓疾患を治療する診療科。臨床の現場では、「ウロ」と略して使われることが多い。

関連語: urology outpatient ^{ユーロロジー} ^{アウトパシエント} 泌尿器外来(ウロ外来)

urology training ^{ユーロロジー} ^{トレーニング} 泌尿器科の実習

(例) カルテをウロに送ってください。

(例) ウロ実習は終わりましたか?

(例) 明日、ウロ実習です。

うんどうまひ 運動麻痺

運動中枢から筋繊維までのどこかに障害があり、筋肉が脱力して随意運動が困難または不能になった状態。

【え】

エイジング、エイジング ^{エイジング} aging 加齢

年をとること。

エーライン ^{エー} ^{ライン} ^{アーテリアル} ^{ライン} A-line(artery-line) 動脈(内)ライン
動脈内にカテーテル(catheter)と呼ばれる細い管を挿入して、動脈内圧をトランスデューサーにより電気信号に変えて表示する方法。

(例) この患者のエーラインは、どこに挿入されていますか?

(例) 血圧は、カフ圧とエーラインでの差はありますか?

エア ^{エア} air 空気、気泡
窒素や酸素など含む混合気体。

(例) 点滴ルート内にエアが入っています。

エアアンピュランス ^{エア} ^{アンピュランス} air ambulance 救急医療用航空搬送機

救急患者を運ぶ航空機、救急ヘリコプター。

エアウェイ ^{エアウェイ} airway 気道

英語の意味としては肺気道全体の区域をさすが、臨床では気道を確保するための器具をさすことが多い。

(例) 舌根沈下がみられるので、エアウェイを使用しています。

エイズウイルス ^{ヒューマン イムノディフィシエンシー ウィラス} Human immunodeficiency virus HIV (ヒト免疫不全ウイルス)

エイズの原因となるウイルス。「エイズウイルス」という言葉は和製英語。

엑스레이, 엑스피어 ^{엑스 레이 포토그램} X-ray photogram X線、レントゲン検査

臨床の現場ではX線を用いて行うレントゲン検査(写真)をさすことが多い。

관련어: chest X-ray 胸部レントゲン

(例) いまから胸部の엑스레이(엑스피어)를撮리마시요.

에코 ^{에코그래피} echography エコーグラフィ、超音波検査

超音波のエコー(反響)を利用し、脳や心臓などの臓器を検査する方法。

에시 壊死

からだの一部分の組織や細胞が死ぬこと。血液が供給されなくなった部分、火傷部分などに生じる。

에스트로젠 ^{에스트로젠} estrogen 卵巣ホルモン、発情ホルモン

主に卵巣から分泌される発情を促す女性ホルモン

에센 ^{에센} essen(独) meal(英) 食事

食品による栄養素や水分の補給。また、その食べ物のこと。

에디마 ^{에디마 에디마 에디마} edema, oedema, odema 浮腫、むくみ

組織間液が増加し、皮下に貯留した状態。

관련어: cardiac edema 心臓性浮腫

(例) 利尿의 效果も弱くて、下肢의 에디마가 著明である。

(例) OOさんが에디마ってきた。

에피드랄 ^{에피드랄 아네स्थ시아} epidural anesthesia 硬膜外麻酔

에피드랄 ^{에피드랄} epidural hematoma(EDH) 硬膜外血腫

①硬膜外腔に麻酔剤を注入する局所麻酔。臨床の現場では「エピ」と略して使用することが多い。

②頭蓋(とうがい)骨と硬膜の間に出血する頭部外傷の代表的な疾患。

(例) 現在、背部に에피가 挿入されています。

(例) 頭部外傷의 患者は、에피드랄의 出血でした。

에피데믹 ^{에피데믹} epidemic 流行性の、流行病

感染症や伝染症があるコミュニティ内で流行すること。

관련어: pandemic 汎(pan-)流行、世界的規模の流行

에비덴스 ^{에비덴스} evidence 根拠、証拠

ある事象が正しいかどうかを示す根拠、証拠のこと。

관련어: evidence-based medicine(EBM) 証拠、根拠に基づく医療

(例) 看護ケアも에비덴스를 考えて 実施してください。

(例) 에비덴스に基づいた患者教育をしましょう。

에프·에프·피어 ^{에프에프피어 프레즈뉴 플로즈너 플라즈마} FFP (fresh frozen plasma)

新鮮凍結血漿

血漿を-40°Cの冷凍庫で凍結させたもの。複合性凝固障害に対して凝固因子を補充することを目的として投与される。

(例) いまからOOさんに에프·에프·피어를 投与します。

에볼라 헤모라지크 피어버 ^{에볼라 헤모라지크 피어버} Ebola hemorrhagic fever (EHF) エボラ出血熱

アフリカ出血熱の一つで、頭痛、背骨痛、高熱を生じ、急速な脱水症状と出血傾向がみられる。

에머지엔시 ^{에머지엔시} emergency 緊急事態、非常事態

「緊急時」「急場」をさす。

관련어: emergency care unit(ward) 救急病棟

(例) 에머지엔시워드에서 ちら에 트랜스(轉棟)해서 きます。

에ム ^{메시릴린 레지스탕트 스태피로코카스 오울레우스} Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌

MRSA 保菌患者をさす場合もある。

(例) OOさんの痰から에ム가 検出されました。

에ム·아르·아이 ^{에ム아르아이 마그네틱 레조넌스 이미징} MRI (magnetic resonance imaging)

核磁器共鳴映像法

放射線、造影剤を使わずに、血液やリンパ液などの流れが画像化できる検査法で、副作用がなく安全性も高い。

에лектро칼디오그램, 에лектро카디오그램 ^{에лектро카디오그램 이션지} electrocardiogram(ECG) (英)

에лектро칼디오그램 ^{에лектро칼디오그램 에카거} Elektrokardiogramm(EKG) (独) 心電図

「イー・シー・ジー」、または単に「心電図」という場合も多い。

에んげ, えん가 嚥下

飲みくだすこと。口腔内の食物を胃まで送り込む過程。とくに食塊によって咽頭粘膜に加えられた蝕刺激により起こる反射運動(食物が食道へ移動する過程)をさす場合がある。

에ん자임 ^{에ん자임} enzyme 酵素

生体細胞内で作られる蛋白性の生体触媒。

에ん젤케어 ^{에ん젤 케어} angel care 死後の処置

亡くなった患者の遺体をきれいにするための処置のこと。

あるいは綿球など、処置の必需品のセット(エンゼルケア)

セット)をさす場合もある。

(例) エンゼルケアセットの準備をしてください。

エント ^{エントラッセン} entlassen(独) ^{ディスチャージ} discharge(英) 退院

現場では「ENT」や「DIS」と記載される。エントラッセンともいう。英語ではdischargeは退院のほか、「滲出液」の意味でも使用される。

関連語: ^{ディスチャージ} discharge procedure 退院手続き

^{ディスチャージ} discharge orientation 退院指導(ディスオリ)

(例) 4月1日がエントですね。エント前の処方の手続きを忘れずにしてください。

(例) OOさんのエントオリ(ディスオリ)終わりましたか?

エンドスコープ ^{エンドスコープ} endoscope 内視鏡

体表から直接見ることのできない体腔内や中腔器官の内부를観察するために用いられる器具の総称。

エンドステージ ^{エンド} end stage ^{ステージ} 末期、終末、終焉

患者の死が近い時期をさす。ほかに、ターミナルステージ(terminal stage)という場合もある。

(例) この患者は肝がんのエンドステージです。

エンボス ^{エンボスメント} embossment, ^{アドミッション} admission card ^{カード} 診察券

もとは、画面上で浮き上がって見えるように文字を加工処理すること。病院では診察券をさす。

(例) 入院患者には1人1枚ずつ、エンボスがあります。

【お】

オートクレーブ ^{オートクレーブ} autoclave 高圧蒸気滅菌器

滅菌するための耐熱耐圧密閉容器。

(例) その器具はオートクレーブにかけます。

おかん 悪寒

激しい寒気。からだがぞくぞくし、身ぶるいなどを起こし、体温上昇を伴う。

オステオポロシス ^{オステオポロシス} osteoporosis 骨粗鬆症

骨の組織が吸収・減少し、もろく折れやすくなった状態。老人や閉経後の女性に多くみられる。

オストメイト ^{オストメイト} ostomate 人工肛門保有者、人工膀胱保有者
人工肛門を使用している人。

おそ 悪阻(妊娠悪阻)

妊娠6～8週ごろ、主に起床時や空腹時に悪心、嘔吐がみられること。重いつわり。

オブザーベーション ^{オブザーベーション} observation 観察

看護師が患者の病状や容態を測定するだけでなく、視覚や聴覚により、意図的に情報を収集すること。

(例) 少し頭痛があるようですが、血圧などに問題がないのでオブザーベーション中です。

オペ ^{オペレーション} operation 手術

^{オペレーション} operationは作用・操作・運転・実施など広い意味を有するが、現場では「オペ(手術)」と略して使用される。

関連語: ^{オペレーション} operation room ^{ルーム} 手術室

^{オペレーション} operation appointment ^{アポイントメント} オペアポ(手術予約)

^{オペレーション} operation orientation ^{オリエンテーション} オペオリ、手術前オリ

エンターション

(例) 明朝10時にオペルームに入室予定です。

オベステイ ^{オベサティ} obesity (病的な)肥満

からだに脂肪が増加している状態。体脂肪は、摂取エネルギーを上回ると増加していく。脂肪蓄積の部位により、皮下脂肪型肥満と内臓脂肪型肥満に分類できる。

(例) オベステイのある患者なので、術中、術後は注意が必要。

オリエンテーション ^{オリエンテーション} orientation 適応、方向づけ

入院時、検査前、手術前、退院時などに患者や家族に対して行われる説明。現場では「オリ」など略して使用される。

関連語: ^{オペレーション} operation orientation ^{オリエンテーション} オペオリ(手術前オリエンテーション)

(例) 手術前には必ずオペオリがあります。

オルターナティブメディスン ^{オルターナティブ} alternative medicine ^{メディスン}

代替医療

西洋医学に対し、それに替わる医療。

オンコール ^{オン} on call ^{コール} 呼び出し

医療スタッフの当直時の呼び出しや、手術開始時間が未定の場合の手術室からかかる呼び出しをさす。また、呼び出しに対応できる待機のこともオンコールという。

(例) OOさんの手術は午後オンコールです。

(例) 今日のオンコールの医師は、どなたですか?

【か】

ガーグルベズン ^{ガーグル} gargle basin ^{ベイズン} うがい用洗面器

口腔洗浄(うがい)時の汚水受け。寝たままの姿勢で使用できるよう曲線に形作られている。

(例) 嘔吐する患者のそばには、ガーグルベズンが必要です。

ガーゼ ^{ゴーズ} gauze ガーゼ

綿糸で目をあらく織ったやわらかい布。脱脂・消毒したものは包帯などに用いられる。

関連語: ^{ガーゼ} gauze ^{マスク} mask ガーゼマスク

(例) 滲出液が多い患者は、ガーゼを多量に必要とする。

カーデックス ^{カーデックス} cardex 一覧式カード法

カードを見やすいようにカードブックにはさんだ方法を「一覧式カード法」または「カードインデックス法」などと呼ぶ。臨床の現場では、はめ込み式で取り外しのできる

カードに、患者に関する情報、治療処置、看護計画などを記入してまとめたものをさす。

(例) カーデックスは患者把握に便利です。

カート ^{カート} cart カート

医療器具、薬剤などを運搬するための手押し車。

(例) 患者が急変したので、救急カートをもってきてください。

カイザー ^{カイザーシュニット} Keiserschnitt(独) ^{シーザリアン} cesarean section(英) ^{セクション}
帝王切開

自然産道からの娩出が不可能または危険な場合に、妊娠子宮壁を切開して胎児を摘出する方法。

(例) 母体の安全も考慮し、カイザーに変更します。

かいよう 潰瘍

皮膚や粘膜などに生じる限局性の組織欠損。皮膚では真皮に達し、胃腸粘膜などでは粘膜筋板の破壊、欠損を伴うもの。

カイロプラクティック ^{カイロプラティック} chiropractic 脊椎指圧療法

脊椎のゆがみを矯正して健康を保とうとする療法。米国で起こった民間療法。

関連語: ^{カイロプラクター} chiropractor 脊椎指圧療法士

カウザルギア ^{カウザルギア} causalgia 灼熱感、疼痛

持続性の激しい皮膚の灼熱感や疼痛。主として抹消神経の損傷後にみられる。

ガウン ^{ガウン} gown 予防衣

病院感染予防、隔離のために着用するもの。

関連語: ^{ガウン} ^{テクニック} gown technique ガウンテクニック(感染予防などのためのガウンやマスクなどの着脱法)

(例) 隔離を必要とする部屋では、ガウンを着用します。

カウンセリング ^{カウンセリング} counseling 相談、助言、心理療法(広義)

面談を通して、患者の問題解決の援助をすること。米国のカール・ロジャースにより体系づけられた方法が有名。

関連語: ^{カウンセラー} counselor 相談員、助言者、心理相談員

かくせい 郭[廓]清

悪いものをすっかり取り除くこと。がんなどの転移に対する根治・予防処置として、周辺のリンパ節などをすべて切除することをさす。

かくたん 喀痰

口腔、鼻腔、咽頭、気管、気管支などの粘膜から出る分泌液。細菌やウイルス、塵埃などが混同する場合が多い。

ガス ^{ガス} gas ガス、おなら

臨床の現場では、腸内ガス(おなら)をさすことが多い。

(例) レントゲン上でガスが多く見られるので、グリカンをお願いします。

かすいたいせいきょじんしょう 下垂体性巨人症

下垂体前葉の腺腫などによって、成長ホルモンの分泌過剰が骨端線閉鎖前に起こり、著しい成長(高身長)とともに、発汗過多や糖尿病、甲状腺腫などをきたす病気。

かすいたいせいいていしんちょうしょう 下垂体性低身長症(成長ホルモン分泌不全性低身長症)

成長期以前に何らかの原因でホルモンの分泌が低下した結果、発育障害をきたす。

ガス壊疽 ^{ガス} ^{キャングレン} gas gangrene 創傷感染症の一つ

創傷にウェルシュ菌などのガス壊疽菌が感染して壊死を起こし、その部分が腐敗してガスを発生する状態。

カタラクト ^{キャタラクト} cataract 白内障

水晶体が混濁した状態をいう。

カタル ^{カタール} catarrh 炎症の一つ

粘膜における分泌物を伴う。

カテ(ーテル) ^{キャシテター} catheter カテーテル

挿入用のチューブ(tube)、管。用途(注入や排液)によりさまざまなカテーテルがある。「心カテ」をさすことが多い。

(例) 明日、緊急で心カテの検査が入りました。

カニューレ ^{キャニュラ} can(n)ula 人工チューブ

血管や体腔へ挿入する人工チューブ。カテーテルと同義。とくに、酸素吸入の管をさすこともある。

(例) オーツー2鼻腔カニューレで開始してください。

かひ 痂皮

かさぶたのこと。皮膚組織にできた水疱や膿疱が炎症して破れ、壊死塊・分泌物などが乾燥、凝固し、一時的に表面を覆ったもの。

カフ ^{カフ} cuff カフ

気管内チューブの先に空気でふくらませるゴムの袋がついているもの。

(例) 挿管チューブのカフは、挿管前に必ず確認してください。

カポジ サルコーマ ^{カポジ} ^{サルコーマ} kaposi's sarcoma カポジ肉腫

皮膚やリンパ節にできる悪性の肉腫。エイズ患者に発生しやすい。

カリエス ^{カリエス} ^{ケアリース} Karies(独) caries(英) 骨瘍、骨疽

慢性の炎症などが原因で、骨や歯牙などの硬組織が壊死・崩壊した状態。

カルチ ^{カルシノーマ} ^{キャンサー} carcinoma, cancer 悪性上皮性腫瘍、がん

がんの中の上皮性悪性腫瘍を表す。がん細胞は分裂を繰り返して増殖し、腫瘍となる。

(例) 胃(マーゲン)カルチの患者です。

カルテ ^{カルテ} ^{クリニカル} ^{チャート} karte(独) (clinical) chart(英) カルテ

医師の診断記録カードのこと。英語ではチャートという。

(例) 最近、カルテ開示も行っています。

カロリー ^{キャロリー} ^{キャロリー} calory, calorie 熱量の単位

水1kgを1気圧のもとで1℃昇温させるのに必要な熱量。

関連語: calory [calorie] ^{アップ} up (和)

食事のカロリー量を増やすこと

かんかくしょうがい 感覚障害

感覚鈍磨、感覚過敏などの障害。

がんきゅうとっしゅつ 眼球突出

眼球が前方に出ること。眼窩腫瘍や、眼窩筋炎、甲状腺機能障害、副鼻腔腫瘍などが原因。バセドウ病の症状の一つ。

かんけつせいはこう 間欠性跛行

下肢動脈の内腔が狭窄したために十分な血液が供給されず、歩行を続けると下肢に疼痛を覚え、休息するといった痛みが治まり、また歩行すると疼痛を覚える状態。

カンジダ ^{キャンディダ} candida 真菌の一つ

消化管内などに常在する菌。からだの抵抗力が弱まると病原性を示す。

かんじゆせい 感受性

ある検査が、病気をどれくらい正確に検出できるかという割合。陽性÷(陽性+偽陰性)。また病気でない人を病気でないと判断できる検査の割合は「特異性:陰性÷(陰性+偽陽性)」という。

がんでいしゅっけつ 眼底出血

網膜や脈絡膜などが出血している状態。高血圧や動脈硬化、糖尿病などで生じる。

カンファレンス ^{カンファレンス} conference 会議、臨床検討会

看護の現場では、チームナーシングのメンバーで行うチームカンファレンスの意味で使われることが多い。メンバーが互いの情報を交換し、看護計画などを話し合う。

(例) 毎日昼休みには、カンファレンスを行います。

ガンマインターフェロン ^{ガンマ} ^{インターフェロン} γ interferon

インターフェロンの一つ

活性化リンパ球が生産する。がん抑制効果の点で注目されているインターフェロン。

ガンマグロブリン ^{ガンマ} ^{グロブリン} γ -globulin

血清蛋白質の一分画(成分)

麻疹(はしか)などの予防にも使われる免疫グロブリン。

【き】

きかん(ない)そうかん 気管(内)挿管

気道確保のために、管(チューブ)を気管内に挿入すること。経口、経鼻、および気管切開による。

ききょう 気胸

胸腔内に気体が貯留した状態。気体が肺を圧迫し、肺が外気を取り込めなくなる。自然気胸、外傷性気胸、医療性気胸、人口気胸に分けられる。

ギネ ^{ガynecology} gynecology 婦人科

主に婦人科疾患を治療する診療科。

(例) ギネの検査は特殊です。

ギャッチベッド ^{ギャッチ} ^{ベッド} Gatch bed ベッドの一つ

ハンドルやボタン操作で患者の上半身を適度な角度に起こし、また膝関節を屈曲させて保持できるベッド。

キャリア ^{キャリアー} carrier 担体、保菌者

①担体。②病原体の保有者、保菌者、保因者。

キュー・オー・エル、クオリティー オブ ライフ

^{キュー} ^{オー} ^{エル} ^{クオリティー} ^{オブ} ^{ライフ} QOL (quality of life) 生活の質、生命の質

生活(人生、生命)の質の向上を目標とする概念。延命第一ではなく、患者の生活・人生を向上させることを考えること。

(例) 患者のキュー・オー・エル(クオリティー・オブ・ライフ)を考えますと、パリアティブケアが望ましいです。

きよけつせいしんしゅつかん 虚血性心疾患

冠動脈の狭窄や閉塞により心筋への血流量が減少して起こる急性・慢性の心筋障害の総称。虚血の結果、狭心症、心筋梗塞、心不全、原発性心停止などが起こる。

きよぜつはんのう 拒絶反応

移植時に、移植片が宿主側に成立した免疫反応によって排除されること。

きれつ 亀裂

皮膚の細くて深い線状の切れ目。皮膚深層から、真皮に達する割れ目で、いわゆる「ひび、あかぎれ」。

きんき 禁忌

医療でいう禁忌(タブー)は、人体に悪影響を及ぼす危険がある治療、検査、投薬のこと。これらを選ばないことが基本。

【く】

クーパー ^{クーパー} ^{レヴァー} Cooper lever 剪刀

ハサミ状の医療器具。

(例) 手術にはクーパーが必要です。

クーリング ^{クーリング} cooling 氷冷、冷療法

からだの一部分を冷やす方法。冷湿布や氷枕などを用いる。止血や解熱などの症状、部位、目的に応じて使い分ける。

(例) 発熱時は、頭部クーリングをしてください。

クール ^{クール} ^{クール} Kur (独) cours (仏) 一定期間(単位)

特定の治療を続ける一定の期間。

クスマウル呼吸 ^{クスマウル} ^{レスピレーション} Kussmaul respiration (英)

^{クスマウルシエ} ^{アトムング} Kussmaulsche Atmung (独) 異常呼吸の一つ

深い呼吸が規則正しく連続して起こるもの。呼吸数は、通常は緩徐であるが、ときどき頻数になる。糖尿病性アシドーシスのときにみられる症状。

(例) クスマウル呼吸がみられます。アシドーシスが進んでいると思われます。

クッシング症候群 ^{クッシング シンドローム} Cushing syndrome

慢性の糖質コルチコイド過剰による症候群

糖質コルチコイド過剰に基づく肥満、ムーンフェイスなどの一連の症状。

クラーク ^{クラーク} clerk 病棟クラーク(事務要員)

大きな病院などにいる事務処理やスケジュール管理などをする人。医師、看護師など医療スタッフが医療業務に専念できるようにサポートすることが役目。

(例) 入院患者が来るので、クラークさんにカルテの準備をお願いしてください。

クライアント ^{クライアント} client 依頼人、顧客

顧客、得意先、依頼人のほか、カウンセリングでカウンセラーの助言を受ける相談者など。

クライオサージェリー ^{クライオサージェリー} cryosurgery 冷凍外科

冷却材で冷凍したメスを局所に当てて、冷温壊死を起こさせ、壊死部分が自然に脱落するのを待つ手術。

クランプ ^{クランプ} clamp 鉗子、鉗搾子

主に手術・外科的処置に用いられる器具。用途は広く、種類やサイズもさまざま。「クランプする(鉗子ではさむ)」と動詞的に使われることもある。

(例) 心リハ時は、ドレーンをクランプしてください。

クリーンルーム ^{クリーン ルーム バイオクリーン ルーム} clean room, bioclean room 無菌(病)室
感染を防止する目的の高度清潔区域。1940年にHEPA フィルター (high efficiency particulate air ^{ハイ エフィシエンシー パーティキュレート エア} filter) が開発されたのがクリーンルーム歴史の始まり。白血病などの免疫機能低下患者、易感染症などに用いられる。

(例) ロイケミー(白血病)の患者は、クリーンルームに入る機会が多い。

クリアランス値 ^{クリアランス} clearance 浄化値、清掃率

腎臓の働きの指標の一つ。血液中から物質が除去される速度を表す。

グリコーゲン ^{グリコーゲン} glycogen ブドウ糖の高次多糖類

炭水化物の一形態で、肝臓や筋肉に蓄えられ、必要なときにブドウ糖になりエネルギーを出す。

関連語: ^{グリコジェナーゼ} glycogenase グリコーゲン分解酵素

クリック ^{クリック} crick 痙攣

筋肉のまたは関節の痙攣。

クリッピング ^{クリッピング} clipping クリッピング

動脈瘤の入り口をクリップで閉じる手術法のこと。

関連語: ^{ネック クリッピング} neck clipping ネッククリッピング術

(例) 今日のザー(SAH)のオペは、ネッククリッピング

を施行します。

クリティカル ^{クリティカル} critical 重大な、危険な、臨界の
危機的な(死の可能性のある危険な状態)。

関連語: ^{クリティカル ケア} critical care 重症集中ケア

クリティカルパス ^{クリティカル パス} critical path 治療計画書

医療の質の確保と効率化を目的として、疾患の治療法ごとに診療計画を入院措置・検査・治療・退院措置など時系列にした標準モデル。

(例) 最近では、各疾患ごとに「クリティカルパス」を作成しています。

クリニカル ^{クリニカル} clinical 臨床の、診療所の

「医学の、医療の」という場合は「^{メディカル}medical」。

関連語: ^{クリニカル サーモメーター} clinical thermometer 医療用温度計

グループワーク ^{グループ ワーク} group work (ソーシャル)グループワーク

グループを形成し、あるテーマを追究・研究したり、ある目的をもって活動することをさす。リハビリテーションなどで活躍される。

(例) 研修では、グループワークが多い。

クレアチニンクリアランス ^{クレアチニン クリアランス} creatinine clearance

腎機能の指標の一つ

腎機能検査で、腎臓の糸球体でろ過される血漿量を調べる。

クレアチン ^{クレアチン} creatine アミノ酸の一つ

筋肉組織・血液中に含まれる筋肉運動のエネルギーを作るのに必要なアミノ酸。ただし、蛋白質は構成していない。大部分は、クレアチンリン酸エステル^{の形}で存在する。

クレブス ^{クレブス} krebs(独) がん

悪性新生物。英語の「^{キャンサー}cancer」。

クローン ^{クローン} clone 同じ遺伝組成の細胞・個体

単一細胞から無性的増殖により生じた、遺伝的に同一な構造をもった細胞群、個体。

グロブリン ^{グロブリン} globulin 血漿蛋白質の総称

α、β、γなどに分けられる。

【け】

ケーススタディ ^{ケイス スタディ} case study 病例検討、事例研究

具体的事例の研究に基づいて問題の体系化を図る研究法。

ケースワーカー ^{ケイスワーカー} caseworker

社会福祉事業、児童福祉司(相談員)

社会福祉問題に従事する専門家。

ケア ^{ケア} care 看護、介護、世話、処置

ケアとは「世話、養育、配慮、看護、介護、めんどろをみる、気づかい…」などをさす言葉。キュア(cure)は患者や病気を「治療する、苦痛を取り除く」という意味。cureとcareは語源的に共通。

関連語: ^{ターミナル ケア} terminal care ターミナルケア

(例) バイタルを計り終えたら、ケアに入ってください。

ケアワーカー ^{サーティファイド ケア ワーカー} certified care worker 介護福祉士
障害者や高齢者の日常生活の介護を行う専門職。

ケアプラン ^{ケア プラン} care plan 居宅サービス計画
介護保険制度の導入により、要介護度(要支援状態、要介護状態1~5)の段階に応じ、限界に応じ、限度内で利用できる介護サービスの時間割。

(例) 訪問介護は、ケアプランが命です。

ケアマネ(ージャー) ^{ケア マネージャー} care manager 介護支援専門員
要支援、要介護と認定された人の相談にのり、利用者と家族の状況に応じた適切なサービスを組み合わせたケアプランを作成し、実践する人。

(例) ナースも5年のキャリアがあれば、ケアマネの受験資格が与えられる。

けいりゅうねつ 稽留熱

一日の体温の高低差が1℃以内で、高熱が持続する熱型。弛張熱に対義する概念。日本脳炎、結核性髄膜炎、肺炎などによる。

けっさつ 結紮

糸などで血管などや管状の組織を結ぶこと。主に、止血のために行われる。

ケトosis ^{ケトシス} ketosis ケトン病[症]

血中あるいは細胞外液中にケトン体の増加した状態。糖尿病や飢餓時などにみられる。

ケモ(セラ) ^{ケモセラピー} chemotherapy 化学療法

病原体そのものを殺滅したり、増殖を抑制したりする薬物を投与して治療する方法。

(例) カルチ(がん)の患者は、ケモ治療を行うことが多い。

ケロイド ^{ケロイド} keloid(独) 蟹足腫

外傷、熱傷などの皮膚損傷に対する組織反応として、繊維が過剰生成され、隆起した状態。

けんとうしき 見当識

いま現在、自分が置かれている状況についての認識。一般的には、時間、場所、周囲の人や状況についての正しい認識をさす。意識障害などでこれが認識できない場合を「見当識障害(失見当識)」という。

【こ】

コート ^{コート スツール} kot(独) stool(英) 便

コート(コット)は英語でスツール(stool)「便」のこと。便の色や形状を観察することにより、病的なものか判断し、医療処置を施すことができる。

(例) 今日のコートの回数は何回だった?

コーマ ^{コーマ} coma(独) coma(英) 昏睡(状態)

高度の意識障害。完全に意識が失われ、刺激に対して反応

しない状態。

コアグラ、クロット ^{コアグュレーション コアグユラム クロット} coagulation, coagulum, clot

凝固、凝血塊

出血部位の血液が凝固することで、傷口がふさがり、出血が停止する。

(例) ドレーンからの排泄に、コアグラ(クロット)が混じっていました。

コメディカル ^{コメディカル スタッフ} comedical staff

医師・看護師以外の医療従事者

薬剤師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士など。

コロン ^{コロン} colon 結腸

大腸の主部分。上行結腸、右結腸曲、横行結腸、左結腸曲、下行結腸、S状結腸などをさす。大腸がんをさす場合もある。

レントゲンによると便でのコロンの一部が詰まっています。

こんすい 昏睡

覚醒不能な精神的・神経学的無反応状態。意識障害のもっとも重篤なもの。

コンピューター トモグラフィー、シー・ティー

^{コンピューテッド トモグラフィー シーティー} computed tomography (CT)

コンピューター連続断層撮影法

X線を人体の横断面に当て、内部の構造をコンピューターを用いて画像に表す。

こんめい 昏迷

意識障害を伴うことはないが、意思の表出がまったく行われない、またはそれが極めて乏しい状態のこと。

【さ】

ザー ^{ザー サブアラクノイド ヒモリッジ} SAH(subarachnoid hemorrhage) クモ膜下出血
軟膜と硬膜の間のクモ膜下腔への出血。40歳以上の場合は、能動脈瘤破裂によるものがほとんどである。

(例) ザーの患者は、脳外疾患の中でも比較的社会的復帰が可能。

サージャリー ^{サージェリー} surgery 手術、外科、外科医学

外科学は手技に基づくため、脳や頭頸部、胸部、腹部など部位別に専門家され、さらに、脳神経外科学や整形外科学のように、外科学から発展した専門分野もある。

関連語：^{サージェン} surgeon 外科医、軍医

サーフロー ^{サーフロー} サーフロー(和) ^{ヴェニユラ} venula(英)

静脈留置針(商品名)

血管内へのカテーテル留置が視覚的に確認できる。溝加工した内針により、カテーテルが血管内に入ると同時にカテーテルの血管確保が視覚的に確認可能。

(例) サーフローは、年齢や薬剤、輸血などにより使用ゲージが異なる。

(例) 成人に点滴をするので、22Gのサーフローを用意してください。

サーボ ^{ヴェンチレーター} ventilator, ^{レスピレーター} respirator 人工呼吸器

サーボベンチレーター(商品名)というスウェーデン製の人工呼吸器のことをいう。

(例) 挿管をするので、サーボを準備してください。

サトカイニン ^{サイトカイン} cytokine 生理活性蛋白質

免疫系細胞を制御する蛋白質。インターロイキン、インターフェロンなど。

サイトメガロウイルス ^{サイトメガロウイルス} cytomegalovirus (CMV)

細胞ウイルス

ヘルペスウイルス群に属する細胞ウイルス。妊婦が感染すると新生児に小頭症など先天異常を起こす。

サクシオン ^{サクシオン} suction 吸い込み、吸引(法)

上気道の分泌物や体腔内の液体、気体などをチューブなどに吸い込んで対外に排出させる方法。

(例) 痰を出せないで、サクシオンしてください。

サクシオンチューブ ^{サクシオン} suction tube ^{チューブ} 吸引チューブ

吸引の際に使用する細い管で、気管内からの液体、気体を吸引するためのチューブ。サイズはさまざまで、長さは50cm前後。

関連語: suction cup 吸引カップ

(例) 吸引するので、サクシオンチューブを取ってください。

さくらん 錯乱

意識障害の一つで、認知・想起・思考などの相互関連が失われ、感情や思考が錯乱すること。

させい、かせい 嚙声

声の音質が荒れていること。嚙れ声。

サチュレーション ^{オキシジェン} oxygen ^{サチュレーション} saturation (S a O₂)

酸素飽和度

血液中のヘモグロビンと酸素の結合割合を示す値で、「%」で表示される。

(例) OOさん呼吸苦があるので、サチュレーションを計測してください。

さっかしょう 擦過傷

擦り傷。表皮がはがれ、真皮が露出した状態のこと。

サブQ、サブキュート ^{サブキューティニアス} subcutaneous ^{インジェクション} injection 皮下注射

皮下組織に薬液などを投与する注射。

(例) ヘパリンのサブQでは、注射針は90度の角度を守ってください。

(例) サブQは腕や腹部以外に、殿部・大腿部でもかま

いません。

サブドラ ^{サブデュラル} subdural ^{ヒモリッジ} hemorrhage 硬膜下出血(血腫)

硬膜とクモ膜の間への血液の血管外漏出のこと。

(例) 75歳の患者。意識がありません。サブドラの疑いあり。

さんやく 散薬

粉末状の薬。粉(な)薬。

【し】

ジー・アイ ^{ジーアイ} GI (Gastrointestinal)

消化管(の)、消化器系(の)

ギヤストロウ ^{ギヤストロウ} (gastro-)は「胃」の意味で、インテスティナル ^{インテスティナル} (intestinal)は「腸の」を表す。

シー・オー・ツールナー ^{カーボン} carbon ^{ダイオキサイド} dioxide ^{ナルコーシス} narcosis

炭酸ガス(二酸化炭素)ナルコーシス

呼吸不全が進行し、動脈血炭酸ガス分圧(P a C O₂)が上昇しすぎると(70 Torr以上)、呼吸中枢が抑制されてしまう。炭酸ガス中毒症候群の重症型をC O₂ナルコーシスという。

(例) シー・オー・ツールナーナルコーシスの確認には、意識レベルに注意してください。

ししん 視診

医師が患者の顔色や表情、姿勢、動作などを目で見て診察すること。

ジスキネジー ^{ジスキネジー} dyskinesie (独) ^{ジスキネジア} dyskinesia (英)

運動異常症、運動障害

神経学的症候、不随意運動の一つ。手足の筋の随意運動低下、アテトーシスなどの不随意運動(アテトーゼなど)、胆道ジスキネジーのような腸管の運動障害。

ジストニー ^{ジストニア} dystonia 筋失調症

不随意で持続的な筋収縮にかかわる運動障害の総称。主として筋の緊張亢進または緊張低下。

ジストロフィー ^{ジストロフィー} プロGRESSIV

(progressive muscular) dystrophy 進行性筋萎縮症

主に四肢の筋肉が徐々に萎縮し、運動機能が失われていく慢性の疾患。中年以降の男性に多く、原因は不明。

じはつつう 自発痛

何もしていない状態で感じる痛み。腫瘍や内臓疾患などがある場合に現れる。視床症候群では、対側の半身または上肢に自発性の激しい疼痛を生じる。

シャーカステン、シャウカステン ^{シャーカステン} Schaukasten (独)

シャーカステン

レントゲン(X線)写真を見るための白い電灯付の装置。

(例) レントゲンをシャーカステンに準備します。

シャント ^{シャント} shunt ^{サージェリー} surgery, ^{シャント} shunt ^{プロシージャ} procedure,

shunt ^{シヤント} bilirubin ^{ビリルビン} 短絡術

血液透析を行う前に血液を取り出し、戻すために作るバイパス。「内シヤント」と「外シヤント」があり、内シヤントは、動脈とその周辺の表在静脈を外科的に吻合して、人工的に動脈血を直接静脈に流入させる方法で、外シヤントは、動脈と静脈にチューブを入れ、からだの外でつなぐ方法。

(例) シヤント部側では、血圧測定を行ってはいならない。

(例) 透析患者のシヤント管理は重要である。

しゅうかく 嗅覚

嗅覚のこと。揮発性の物質を嗅細胞が受容したときに生じる化学反応(感覚)。

ショートステイ ^{ショート} ^{ステイ} short stay 短期入所

在宅看護を受けている要介護者を7日程度「特別養護老人ホーム」または「養護老人ホーム」などに入所させること。要介護者はリハビリなどを行う目的で入所することもあるが、介護者の負担の軽減を図る目的とすることが多い。

(例) 新しい入居者は、ショートステイで5日間です。

しよくしん 触診

医師が患者のからだに触れて診断すること。

じよくそう 褥瘡

床ずれのこと。長時間にわたり骨の突出した部位などが圧迫されて循環障害を起こし、壊死となった状態。

ショック ^{ショック} shock ショック、急性循環不全状態

抹消の血液循環が阻害され、急激な血圧低下、意識混濁、感覚鈍磨などが起こること。

じよみやく 徐脈

脈拍数が60回/分未満の状態。

シリンジ ^{シリンジ} syringe 注射器(筒)

注射の薬剤を入れる筒状の容器。筒先に注射針(ニードル)をつけて使用する。使い捨ての注射器は「ディスポ」と呼ぶことが多い。

(例) 採血をするので、10mlのシリンジを用意してください。

シリンジポンプ ^{シリンジポンプ} syringepump 輸液ポンプ

注射器の内筒をポンプで一定速度で押すことにより、薬液を微量ずつ持続的に注入する器械。

(例) 微量で持続点滴する薬剤は、シリンジポンプを使用します。

しんしゅつえき 滲出液

炎症によって血管外に血液成分がしみ出て、組織、漿膜、粘膜の表面に集まったもの。血液成分や組織由来の細胞、およびそれらの崩壊産物が含まれる。

しんせん 振戦

①ふるえのこと。関節を中心として、からだの一部や全身が律動的、不随意にふるえること。②心血管雑音がエネルギーの大きい超低周波成分を含んでいるときに、それを体表面で蝕知することができる振動感。

シンチ ^{シンチグラム} scintigram シンチグラム

放射性物質を体内の臓器に取り込ませ、そこから放出される放射線を検出し、臓器の像を描いたもの。またはその検査。

(例) 心筋・骨シンチの検査があります。

しんぼうさいどう 心房細動

洞結節からの刺激に関係なく、心房内の各所が無秩序に興奮している状態。心電図上、P波がなく、f波と呼ばれる小刻みな波形が記録される。

シンドローム ^{シンドローム} syndrome 症候群

特定の疾患や病的変化を基礎に、一群の徴候や症状が現れること。原因の異なる疾患が同一の症候群を現すこともある。

(例) 高齢出産は、ダウンシンドロームが生まれる確率が高い。

【す】

スキゾフレイニア ^{スキゾフレイニア} schizophrenia 統合失調症

脳などの神経系の病気。青年期に発病することが多い。慢性に進行し、のちに人格荒廃にいたることがある。原因は不明で、体質やストレスなど相互作用によると考えられる。

(例) 家族によれば、クライアントは数か月にわたって自室にひきこもり、気力もなく、抑うつ的だということで、スキゾフレイニアの疑いもあります。

スタンダード プリコーション ^{スタンダード} ^{プリコーション} standard precaution

標準予防策

救急医療や初期医療において、すべての湿性生体物質(血液や体液、喀痰、尿・便など)は感染の可能性がある(陽性)として取り扱い、予防策として防護服を着用することをいう。

関連語: ^{ユニヴァーサル} ^{プリコーション} universal precaution 普遍的予防策

ステル ^{ステルベン} ^{デス} ^{ダイ} Sterben(独) death, die(英) 死亡

全身的な死亡を意味する。ステルに対してネクロは部分的な壊死のこと。ステルベンする(死亡する)という言葉が短縮され、「ステル」のように動詞的に用いられるようになった。

(例) 昨日、あの患者はステってしまった。

スト(一)マ ^{ストーマ} stoma 人工肛門、人工膀胱

もとはギリシャ語の「口」で、医学的には外科学的に作られた排泄口をさす。主に肛門部の手術で、括約筋が損傷された場合の人工肛門や人工膀胱などを意味する。

関連語: ostomate ^{オストメイト} 人工肛門(膀胱)保有者

(例) ストマの受容には時間がかかる。

ストレッチャー ^{ストレッチャー} stretcher 担架

患者を臥床させたまま移動させることができる輸送車。

(例) 外傷患者の移動は、ストレッチャーで行います。

ストレプトコッカス ^{ストレプトコッカス} Streptococcus 連鎖球菌

グラム陽性の球菌で、連鎖状になる傾向が強い。病原性のものには、化膿、扁桃炎、猩紅熱、産褥熱、気管支肺炎、敗血症、リウマチ熱などの原因菌がある。

スパイナルショック ^{スパイナル ショック} spinal shock 脊髄ショック

脊髄損傷を受けた直後は、損傷部位以下の脊髄が機能不全に陥り、筋肉の弛緩性麻痺と反射の消失がみられる。

(例) 脊髄損傷の初療看護は、スパイナルショックによる呼吸・循環不全に対応する。

スパズム ^{スパズム} spasm 痙攣

不随意的・発作的に筋収縮を起こす状態。眼瞼や顔面などのスパズムがある。

(例) クモ膜下出血術後は、スパズム(血管攣縮: ^{ヴァイソスパズム} vasospasm) が起こりやすい。

スピーチセラピスト ^{スピーチ ランゲイジ ヒヤリング セラピスト} Speech-Language-Hearing therapist

言語聴覚士

先天的な聴覚障害の言語機能訓練、脳卒中などによる言語機能障害のリハビリテーションなど、これらに必要な検査、助言、指導その他の援助を専門的に行う者。言語療法士。言語治療士。

スプータ ^{スピュータム エスピー} sputum(s p) 痰

気管・気道の分泌物。

(例) スプータをとってあげて。

ズポ ^{サポジトリイ} suppository 坐薬

薬剤と基剤を均等に混ぜ、適当な形状に成型した固形外用薬。サポともいう。ボルタレン(Voltaren)の坐薬のことを「ボルズポ」という。

(例) 解熱の指示に、ボルズポがあります。

【せ】

せいかつはんのう 生活反応

①バイタルサイン。②生きている場合にのみからだに起こる反応。法医学で最も重要な要素。皮下出血、呼吸、炎症、化膿など。死体の損傷が生前のものかを確かめるために利用される。

せいちゃく(りつ) 生着(率)

移植手術や接種などの成功(率)。

セカンドオピニオン ^{セカンド オピニオン} second opinion 別の医師の意見、別の援助、第二の意見

患者が治療を受けるうえで、診断をうけた医師とは異なる

医師の意見を求めること。複数の医師の意見を聞いて医療情報を得たりしながら、よりよい治療法を患者自身が選択していくという考え方。

現代では1人の医師だけではなく、セカンドオピニオンも必要である。

ゼク ^{ゼクテオン} Sektion(独) ^{オートプシー} autopsy(英) (病理)解剖、剖検

オートプシー参照

(例) 死亡原因がはっきりしないため、ゼクを行います。

セプシス ^{セプシス} sepsis 敗血症

血液内に病原菌が進入し、その結果生じるさまざまな症状のことをいう。

関連語: ^{セプシス セプティック} sepsis[septic] shock 敗血症性ショック

(例) 感染が全身に広がって、セプシスショックとなった。

セルディングー ^{セルディングー} Seldinger's method

セルディングー法(経皮的血管撮影法)

皮膚を切開し、血管を露出せず、経皮的にカテーテルを血管内に挿入する方法。

(例) アンギオには、ダイレクトとセルディングー法がある。

せんし 穿刺

注射針などを血管や体腔内、内臓などに刺すこと。検査、体液・膿などの排出、薬物注入などのために行われる。腹腔穿刺、心嚢穿刺、胸腔穿刺など。

ぜんめい 喘鳴

ゼイゼイ、ハアハアという呼吸音。気管支炎や気管支喘息、咽頭腫瘍、咽頭浮腫などで聴取される。

せんもう せん妄

一過性の意識障害。軽度～中等度の意識混濁に、幻覚や錯覚が加わった状態。

【そ】

そうぼうべんきょうさくしょう 僧帽弁狭窄症

心臓弁膜症の一つで、僧帽弁口が狭窄する疾患。ほとんどの場合、リウマチ性心内膜炎に続発する。

そくせん 塞栓

リンパ管内で発生、または外部から流入し、その内腔を閉塞すること。また、その物質(塞栓子)。血栓塞栓症、脂肪塞栓症、細菌塞栓症などがある。

そしゃく 咀嚼

かむこと。嚥下・消化の準備として、食物を歯で細かく砕き、すりつぶすこと。

ソセ・アタ ^{ソセゴン アタラックス P} sosegon&Atarax-P ソセアタ

「ソセゴン」という薬剤と「アタラックスP」という薬剤を合わせた合成語。

(例) 鎮静にソセ・アタ各1アンプル、アイブイしてくだ

さい。

【た】

ターミナル ^{ターミナル} terminal 末期、終末期

十分な治療を行っても回復の見込みがなく、積極的治療がむしろ不適切と考えられる状態で、死がすぐそこに迫っている病気・病人の状態をさす。エンドステージ(end stage)、ファイナルステージ(final stage)ともいう。

関連語: terminal cancer 末期がん

(例) ターミナルパシエントは、ホスピスでターミナルケアを受けるのもよいでしょう。

ターミナルケア ^{ターミナル ケア} terminal care (終)末期医療

がんなどの病気ですら期を間近にした患者に対する肉体・精神両面からの医療。

(例) 近年、住み慣れたわが家で最期を迎えるという思いから、在宅でのターミナルケアも注目されています。

タール ^{タール} tar 黒い粘着性物質

有機物を熱分解して得られる粘性の油状液体。褐色または黒色で、主成分は炭化水素。

関連語: tarry stool タール(様)便

(例) 今日はタール便が出た。

ダイアグノシス ^{ダイアグノシス} diagnosis 診断(結果)

医師が患者を診察して病状を判断すること。

関連語: physical diagnosis 理学的診断

clinical diagnosis 臨床診断

differential diagnosis 鑑別診断

definite diagnosis 確定診断

diagnosis by exclusion 除外診断

pathological diagnosis 病理診断

(例) いまだ、ダイアグノシスがはっきりしない。

ダウンズシンドローム ^{ダウンズ シンドローム} Down's syndrome ダウン症候群

第21番目の常染色体異常による先天性の疾患群。精神発達遅滞や特異な顔貌を伴う。

タキプニア ^{タキプニア} tachypnea 頻呼吸

呼吸数が増加すること。アプニア(apnea)は「無呼吸」のこと。ディスプニア(dyspnea)は「呼吸困難」。

(例) 昨日の患者は、ヒステリー性のタキプニアがあった。

タキル ^{タキ} tachy- 急速になる

呼吸や脈が速くなることを英語の接頭辞「tachy-」を用いて「タキル」という。和製カタカナ語。

関連語: tachycardia 頻脈

(例) 脱水時にはレート(脈拍)がタキリます。

だしん 打診

医師が患者のからだを手や打診器で叩き、その音で診断す

ること。

ダブルチェック ^{ダブル チェック} double check ダブルチェック

処置や投薬などをする前に、看護師と医師など2人で確認点滴混注時は、必ずダブルチェックしましょう。

ダブルルーメン ^{ダブル リューメン} double lumen 2孔チューブ(カテーテル)
2本の操作穴のある管。

(例) 透析患者には、緊急でダブルルーメンを使用します。

ダンピングシンドローム ^{ダンピング シンドローム} dumping syndrome

胃切除後症候群の一つ

上部消化管の切除をした患者の食後に、食物が急速に小腸に排出されるために生ずる。悪心、嘔吐、発汗、動悸などの症状が特徴。

タンポナーデ ^{タンパネイド} tamponade タンポン法

外科的止血法で、一時的直接止血法に分類される。

関連語: cardiac tamponade 心タンポナーデ

(例) 鼻出血には、ガーゼタンポナーデを用いる。

【ち】

チアノーゼ、サイアノーシス ^{チアノーゼ サイアノーシス} Zyanose(独) cyanosis(英)

チアノーゼ、皮膚青変症

血液中の酸素欠乏によって、皮膚と粘膜が濃い青紫色や赤紫色になること。

(例) 唇や手先にチアノーゼがある。

チャイルドアブュース ^{チャイルド アブュース} child abuse 自動虐待、幼児虐待

子どもの身体・精神に危害を加えたり、適切な保護・養育を行わないこと。

関連語: neglect 養育放棄、ネグレクト

battered child syndrome

バタードチャイルド(被虐待児)症候群

ちょうしん 聴診

医師が聴診器を用いて患者の体内で発生する音を聞き取り診察すること。心音、呼吸音、腸管蠕動音などを聴取する。

【つ】

ツッカー ^{ツッカー シュガー} Zucker(独) sugar(英) ブドウ糖液、糖質

英語のシュガーのことで、医療現場でツッカーといえば、ブドウ糖液(glucose)をさす。

(例) ツッカーは、5%から50%までである。

ツモール ^{トゥモール} tumor 腫瘍

「腫瘍ツモール」という言い方のほか、「トウモール」「チューモア」ともいう。

(例) このツモールは、マリグナントかなあ、それともベニンかなあ?

(例) 内視鏡検査時よりツモールが大きくなっていた。

ツモールマーカ- ^{トゥモール マーカー} tumor marker 腫瘍マーカ-

がん(悪性腫瘍)がある可能性を示す物質。臨床検査の一つとして用いられる。偽陰性、偽陽性の場合もあり、腫瘍マーカーだけで診断できるものはPSA(前立腺がんのマーカー)など少数。しかし、がん再発の有無や微小ながんの発見に確実ではないが有用な方法。

(例) ツモールマーカー、PSA値は5.4です。75歳なので通常の範囲内でしょう。

【て】

テー・ベー ^{テーベー} TB(独) ^{テューバキユロウシス} tuberculosis(英) (肺)結核
結核菌の飛沫感染により生じる伝染性疾患。

(例) 最近、若者に新しい型のテー・ベーがはまっている。

ディー・エム ^{ディーエム} DM ^{ダイアビータス} (diabetes mellitus) ^{メラリタス} 糖尿病
血中インスリン不足により、高血糖状態になる代謝性疾患。生活習慣の見直しや食事コントロールが必要となる。

(例) ディー・エム患者は、食事のカロリー計算が大切だ。

デイケア(センター) ^{デイ ケア センター} day care (center) 日帰り療養
老人保健施設または医療機関で、食事・入浴・機能訓練などのサービスを日帰りで提供するもの。

関連語: ^{デイ サービス} day service デイサービス(和)

(例) デイケアの対象者は、虚弱や寝たきりの高齢者である。

ディスブニア ^{ディスブニア} dyspnea 呼吸困難
呼吸しようと努力しているにもかかわらず、息切れや息苦しさを感じる状態。

(例) 昨日の患者は、ヒステリー性のディスブニアがあった。

ディスポ ^{ディスポザブル} disposable 使い捨ての
ディスポーザブルの略で、使い捨てできる物をさす。注射器、注射針、カテーテル、マスク、メスなどがある。

(例) シリンジは、現在ほとんどがディスポ製品である。

ディハイドレーション ^{ディハイドレーション} dehydration 脱水(症)
体内の水分が不足した状態。水分(体液)には電解質が含まれているので、同時に電解質の不足も生ずる。多汗・多尿、重度の下痢などの場合に起こる。

(例) 高熱があります。感染あるいはディハイドレーションによるものかもしれません。

ディプレッション ^{ディプレッション} depression うつ病、抑うつ(症)
抑うつ気分や厭世的気分、不安、焦燥、劣等感のほか、食欲低下、不眠症などを特徴とする精神疾患の一つ。

(例) ディプレッションの徴候があります。自殺のサインを見逃さないようにしてください。

デクビ ^{デクビタス} decubitus(独) ^{ベッドソア} bed sore, ^{プレッシャー} pressure sore(英) 褥瘡
骨の突出した部位の皮膚および軟部組織が、長時間圧迫さ

れて循環障害を起こし、壊死した状態のこと。

(例) デクビは、どういう体位を長時間とっているかによって好発部位が変わってくる。

テタニー ^{テタニー} tetany 筋緊張性痙攣

手の攣縮が主症候。手だけでなく、足にも攣縮が起こる手足攣縮も含む。

デブリ、デブル ^{デブリ} debris, ^{デブリドマン} debridement(仏)

創面を切除すること、デブリ(一)ドマン

創面を切除し、出血や化膿液を排出させることにより、治療を促進する。

(例) III度のデクビに対し、頻回にデブリを行う必要がある。

テンション ^{テンション} tension 緊張(状態)

精神的な緊張。不安。

【と】

ドップラー法 ^{ドップラー} Doppler method ^{メソッド} 超音波検査法の一つ

胎児の心音を聴取するなど、体内で運動している対象の様子を調べるのに用いる。

ドナー ^{ドナー} donor ドナー

臓器、血液などの提供者。

トモグラフィー ^{トモグラフィー} tomography 断層X線写真撮影法

X線による断層写真撮影法。

関連語: ^{コンピューテッド} computed tomography(CT) ^{シーティー} (X線)CT

トラヘルパー ^{トラヘルパー} トラヘルパー(和)

輪状甲状軟骨穿刺キット(商品名)

緊急時の気道確保に有効。

(例) 輪状・甲状軟骨間に6mmほど皮膚を切開し、トラヘルパーを穿刺・挿入しよう。

(例) 挿管後、念のためにトラヘルパーを挿入しよう。

トリアージ ^{トリアージ} triage(仏) 選別、振り分け

傷病者の重症度を判断し、緊急の処置・搬送・治療の最優先順位を決める行為・過程のこと。災害治療などにおいて、人的・物的資源が不足している状況で、最大の医療効果を発揮するために行われる。

ドレイン ^{ドレイン} drain 排膿、排液

体内にたまった膿や液を排出させること。現場では、しばしばドレインチューブ(排液管)のことをさす。

(例) 術後、ドレイン(チューブ)は2本挿入されています。

ドレッシング ^{ドレッシング} dressing 包帯(材)

包帯など皮膚を保護するために用いる絆創膏類のこと。

(例) 感染防止のためには、ドレッシングが必要である。

ドレナージ ^{ドレナージ} drainage 排膿法、排液法

血液、滲出液、分泌物などを排液管やタンポン挿入などによって排出させること。

(例) ドレインからの排液は少なくなってきてはいるけど、術後は数日間ドレナージが必要だ。

(例) 肺から痰などのドレナージをするときは、体位を変えたほうがやりやすいよ。

トレマー ^{トレマー}tremor 振せん、ふるえ

病気や恐怖、興奮によって筋肉が収縮し、からだの一部が随意にふるえること。

(例) クライアントはナーヴアスで、ハンドトレマーがあります。

【な】

ナーシング ^{ナーシング}nursing 看護、保育、授乳する

職業としての看護や保育を表す。また形容詞として、看護する、授乳する、などを表す。

ナーシングホーム ^{ナーシング}^{ホーム}nursing home 福祉施設の一つ

医療・福祉が一体化された特別養護老人ホーム。とくにアメリカで発達。高齢者に介護・看護・機能回復などを施す。

ナースステーション ^{ナース}^{ステーション}nurse station 看護師詰所

看護師が記録したり、引きつぎをするための場所(看護師室)。

(例) ナースステーションは病棟の中央にあることが多い。

ナースセンター ^{ナース}^{センター}nurse center (和) ナースセンター

退職した看護師の再就職斡旋や、看護師養成に関する情報を提供する機関。1992年の看護婦等人材確保法に基づいて設置された。

関連語: nurse bank (和) ナースバンク、看護師銀行

ナート ^{ナート}^{スーチャー}Naht, suture 縫合

創傷部を縫い合わせる外科的処置。

(例) 切創をナートしました。

ナトカリ ^{ナトカリ}Na&K ナトリウムとカリウム(電解質)

医学上は、NaイオンやKイオンそのものを電解質と呼ぶことが多い。細胞の主要な2つのイオンをまとめてこう呼ぶ。電解質にはナトカリのほか、クロール(Cl)、カルシウム(Ca)、リン(P)、マグネシウム(Mg)などがある。

(例) 電解質補正にナトカリは重要です。

【に】

ニューロウシス ^{ニューロウシス}neurosis 神経症

主に、心理的な原因により起こる心身の機能異常。生物学的成員もあることがわかってきている。

関連語: nervous breakdown ^{ニューロウシス}^{ブレイクダウン} ノイローゼ(神経衰弱)

ニューロパシー ^{ニューロパシー}neuropathy 神経障害

脳神経、脊髄神経の疫病

【ね】

ネクロ ^{ネクロウシス}^{ネクローシス}necrosis (英) Nekrose (独) 壊死

生体の中で、局所の細胞、組織、臓器などが部分的に死ぬことをいう。臨床の現場では「ネクロ」などと動詞的に使うこともある。

(例) 抗がん薬の点滴が漏れたら、ネクロってしまうので点滴管理は慎重に。

【の】

のうそくせん 膿塞栓

血栓や空気、脂肪、腫瘍などの異物が脳に流れてきて、脳動脈が閉塞し、脳虚血を起こすこと。似た症状の「脳血栓」は、脳血管壁の障害による。

のうそっちゅう 脳卒中

脳血管障害により、急激な意識障害、神経症状などを生じる疾患。脳出血、脳梗塞、クモ膜下出血など。

【は】

パーキンソン病 ^{パーキンソン}^{ディジーズ}Parkinson disease

パーキンソン病、振せん麻痺

ドーパミンの著しい減少があり、振せんや特有の姿勢異常をきたす難病(特定疾患)

バージャー病 ^{バージャー}^{ディジーズ}Buerger's disease

閉塞性血栓血管炎、ビュルガー病

末梢動脈に血栓などができて血流が途絶え、その先の組織が壊死する。原因不明。特定疾患。

バイアル ^{バイアル}vial 小びん

もとは小びんのこと。臨床の現場では、注射用薬剤の入った有栓のガラス製容器の意味で使う。少量ずつ使用するインスリンや局部麻酔などの薬剤に使用する。

(例) ヘパリンは、アンプルではなくバイアルです。

バイオプシー ^{バイオプシー}^{ビーエックス}biopsy (B x) 生検

生体より組織をごくわずかに採取し、細胞を染色して、顕微鏡で組織学的検査を行うこと。

(例) FGS (胃ファイバースコープ)中にバイオプシーも行いました。

バイタル(サイン)

^{ヴァイタルズ}^{ヴァイタル}^{サインズ}^{レーベンスツァイヘン}vitals, vital signs (英) Lebenszeichen (独) 生命徴候
生命を維持するのに不可欠な心臓、肝臓、肺、胃、脳などの徴候。また、脈拍、呼吸、体温、血圧のこと。

(例) 術後には、30分おきにバイタルをみます。

(例) 入院時のバイタルを教えてください。

(例) 手術入室前、バイタルは安定していました。

(例) 心臓術後のバイタルは、術後1時間は15分ごと、その後は1時間ごとに観察します。

(例) バイタルで異常所見はみられましたか?

バイトブロック ^{バイト}^{ブロック}bite block 咬合阻止器

気管に挿入したチューブを無意識に嚙んでしまうのを防ぐための道具。

(例) 経口挿管時は、バイトブロックと管を一緒に固定し、抜けないようにします。

ハイパーテンション ^{ハイパーテンション} hypertension 高血圧症

動脈血圧が高い状態のこと。「hyper-」は「高～、過度の」という意味の接頭語で、程度が大きいこと。

関連語: ^{ハイポテンション} hypotension 低血圧症

(例) ハイパーテンションの患者は、脳出血のリスクが高い。

バイパス ^{バイパス} bypass バイパス、側管

血管の閉塞(虚血性疾患)治療に用いられる側管。主管から分かれ、再び主管に戻る側副路で、人工の血管や本人の静脈(動脈)を用いて作られる。

ハイポ ^{ハイポエタノール} hypoethanol ハイポエタノール

ヨウ素(ヨード)の殺菌作用を利用した殺菌・消毒薬類の脱色・消毒に用いられる殺菌消毒薬。「hypo-」とは「低～」という意味の接頭辞。

(例) 消毒にはイソジン・ハイポを使用します。

バイポラー ^{バイポラー} bipolar 双極性の、そううつ

もとは二極、両極を意味し、そううつを意味するマニアク・ディプレシヴ(^{マニアク} maniac-^{ディプレシヴ} despressive)と同義の言葉。

(例) 気分の障害があり、ときにそう病、またうつ病のエピソードがあります。バイポラーでしょう。

バキューム ^{ヴァキューム} vacuum 真空の、真空

「真空」の意味であるが、産科などの現場では吸引分娩術や吸引分娩器に対してバキュームという言葉を用いるがある。痰などの吸引はサクション(suction)。

(例) オペを行うので、バキュームを準備してください。

はくせん 白癬

白癬菌などの糸状菌感染による皮膚病。頭部白癬(しらくも)、頑癬(いんきんたむし)、汗疱状白癬(みずむし)など。

はくどうつう 拍動痛

脈拍に伴い生じるズキズキするような痛み。血管性頭痛など。

はくりこっせつ 剥離骨折

骨に対して外力は働かず、筋肉、靭帯、腱などの牽引力により、そこに付着している骨が剥離して(はがれて)起こる骨折。圧迫骨折や屈曲骨折のように、どのような外力が加わり骨折したか、という分類上の名称。

はこう、ひこう 跛行

歩行可能であるが、正常に歩行できない場合のこと。一側を引きずる型の歩行異常など。

バセドウ病 ^{バセドウズ} Basedow's ^{ディジーズ} disease

バセドウ病、自己免疫疾患の一つ

びまん性甲状腺腫、眼球突出、頻脈を三主徴とする甲状腺機能亢進症。女性に多い。グレイヴズ病。

パラチフス ^{パラタイフォイド} paratyphoid ^{フィーヴァー} fever 疑似チフス

腸チフスに似ているが、通常は下痢などの軽症。

パラノイア ^{パラノイア} paranoia 妄想症

内的原因から妄想が発生する病気の一つ。妄想には、血統や発明、宗教、恋愛、嫉妬などが含まれ、持続・発展する。その他の思考や行動には異常がみられず、人格の荒廃もきたさない。40歳以上の男性に多い。

パリアティブ ^{パリアティブ} palliative 待機的な、緩和的な

病気や痛みなどを一時的にしのぐ、軽くするということ。

(例) 患者のQOLを考慮してパリアティブケアが望ましいでしょう。

バリアフリー ^{バリア} barrier-^{フリー} free バリアフリー

障害者や高齢者の生活や活動に不便な障害を取り除くこと。

バリックス ^{ヴァリックス} varix, ^{ヴァリコース} varicose ^{ヴェインズ} veins 静脈瘤

静脈にできた瘤(こぶ)のこと。動脈にできるものは「動瘤(aneurysm)」という。

(例) バリックス破裂で、ショック状態です。

パルスオキシメトリー ^{パルス} pulse ^{オキシメトリー} oxymetry

パルスオキシメーター

指や耳にプローベという器具をつけるだけで、動脈血の酸素飽和度(SaO2)と脈拍が調べられる機器。収縮期脈には光線の吸収がわずかに増加することを利用して測定する。パルスオキシメーターでの測定値は「SpO2」と表す。

(例) パルスオキシメトリーで酸素飽和度は97%です。

ハルステッド手術 ^{ハルステッド} Halsted's ^{オペレーション} operation 乳房切除手術
乳がんに対する根治手術。定期的乳房切除とほぼ同義に用いられる。

ハルン ^{ハルン} Harun(独) ^{ユーリン} urine(英) 尿

ユーリンともいう。記録するときは「Hr」と略す。

関連語: ^{ユーリン} urine ^{カップ} cup

ハルン(ユーリン)カップ、尿検査用コップ

^{トータル} total ^{ユーリン} urine

ハルン(ユーリン)トータル、総尿量

^{ユーリン} urine ^{シュガー} suger

ハルンツッカー、ユーリンシュガー、尿糖

^{クラウディ} cloudy ^{ユーリン} urine クラウディユーリン、尿混濁

(例) 今日1日量のハルンはいくらですか?

(例) ハルン流出に気をつけてくださいね。

バル(一)ン(カテーテル) ^{バルーン} balloon ^{キャンター} catheter

膀胱留置カテーテル

臨床現場で「バルン」といえば「膀胱留置カテーテル」をさす。先端に風船状に膨らませる部分がついているカテーテル(細いチューブ)。膀胱内にカテーテルを挿入し、チューブ先の風船を膨張させ、膀胱内から尿を持続的に外に出すもの。

(例) 絶対安静なので、バル(一)ンカテを挿入します。

はんこん 癩痕

傷ついた皮膚に肉芽(組織)ができ、その上を表皮が覆って治療した状態のこと。切り傷、火傷、潰瘍などのあとにできる。熱傷のあと、癩痕書式が過剰にできる状態を「ケロイド」という。

ばんせいいでん 伴性遺伝

雌雄共通の性染色体上の遺伝子によって起こる遺伝のこと。雌雄のどちらか一方のみにある染色体によって起こる遺伝は「限性遺伝」という。

ハンセン病 ^{ハンセン} ^{エイジーズ} Hansen disease ハンセン病

癩菌による慢性感染症。顔面、手足の変形、高度な皮膚症状を伴う。「癩病」はハンセン病以外の病気を含む訳語で、古い資料などの翻訳で「癩病」とするほうが正確である場合に使われる。

【ひ】

ビー・エス ^{ビーエス} ^{ブラッド} ^{シュガー} B S (blood suger) 血糖

血液中のブドウ糖(グルコース)のこと。

(例) 食前のビー・エスの値はいくつですか?

ピオ ^{ピオサイアニン} pyocyanin ピオシアニン、膿、緑膿菌

緑膿菌はグラム陰性の桿菌。創面や褥瘡に感染すると、ピオシアニン様の緑色になる。病原性は弱い、日和見感染の原因になる。

ピオ呼吸 ^{ピオズ} ^{ブリージング} ^{レスピレーション} Biot's breathing [respiration]

異常呼吸の一つ

小さな頻回の呼吸と大きくゆっくりとした呼吸など、深さも頻度も一定しない呼吸が交互に現れ、呼吸が一時停止する。この呼吸を周期的に繰り返す。脳炎・髄膜炎・脳腫瘍などで頭蓋内圧亢進があるときに起こる。

(例) ピオ呼吸がみられはじめています。頭蓋内圧が亢進していると思われ、ほかのバイタルサインの変動にも注意してください。

ピグメンテーション ^{ピグメンテーション} pigmentation 色素沈着

生体内に色素が貯留し、褐色や黒褐色などに变化すること。主に、メラニン色素が病的に増加することをさす。

(例) ピグメンテーションも不均一で、色の度合いが違っている。

びへい(そく) 鼻閉(塞)

鼻づまりのこと。外鼻孔から鼻腔のどこかが、粘膜、分泌

物、異物などによって狭窄し、呼吸が妨げられる症状。

ひよりみかんせん 日和見感染

健康な人には害とならない弱毒菌、平素無害菌が、感染抵抗力が低下した宿主に引き起こす感染症のこと。

びらん 糜爛

粘膜や皮膚がただれること。欠損は浅く、真皮までは達しない。粘膜菌版を超えたり、真皮に達する欠損は「潰瘍」。

ビリルビン ^{ビリルビン} bilirubin 色素の一つ

赤褐色の胆汁色素。肝臓で代謝され、胆汁中に排出される。これが血液中に増加すると黄疸を生じる。

びろう 鼻漏

鼻汁が鼻孔から出ること。またその鼻汁。

ひんみやく、ひんぱく 頻脈、頻拍

脈拍数が100回/分を超えるもの。「頻拍」は頻脈のうち、病的なものをさす場合もある。

ピンホール ^{ピン} ^{ホール} pin hole 縮瞳

「針で突いた穴」の意。瞳孔が針で突ついたほどの小さな穴程度(2mm以下)に縮瞳した状態のこと。

(例) 意識障害患者の瞳孔は、ピンホールである。

【ふ】

ファイティング ^{ファイティング} fighting ファイティング

患者の自発呼吸と呼吸器の設定が合わない状態。

(例) 人工呼吸器に合わずに、ファイティングを起こしている。

ファイバースコープ ^{ファイバースコープ} fiberscope 内視鏡

医療では、人体の内部を観察する内視鏡をさす。

フィーバー ^{フィーバー} fever 熱、熱病

発熱すること。

フィジカルアセスメント、フィジアセ

^{フィジカル} ^{アセスメント} physical assessment 身体に関するアセスメント

患者の身体状態に焦点をおいて観察し、アセスメント(評価・査定)すること。「頭の前からつま先まで」「内側(内臓)も外側も」など、からだのすべてを看護の立場で客観的に行うアセスメント。

(例) 入院時のフィジカルアセスメントは大切である。

(例) 医師の診断も大切だが、それより先に看護師がフィジカルアセスメントを行い、異常に気づき、医師に報告することが重要である。

フィブリノーゲン ^{フィブリノーゲン} fibrinogen 糖蛋白質の一つ

血漿中に含まれる蛋白質で、血液を凝固させる因子の一つ。肝細胞で作られる。

フィブリン ^{フィブリン} fibrin 繊維(線維)素

血液が凝固するとき、フィブリノーゲンにトロンピンが作用してできる硬蛋白質。

ブイライン ^{ヴイ ライン ヴィナス ライン} V-line (venous line) 静脈(ライン)
静脈からとるラインのこと。

(例) ブイラインより採血してください。

フィラリア ^{フィラリア} filarial 糸状虫
多くの脊椎動物の血液、組織、組織液、または体腔内に成虫として寄生する。線虫綱糸状虫目の寄生虫の総称。

フィルム ^{フィルム} film 画像フィルム
レントゲン(X線)やCT、MRI、アンギオ(血管造影法)などの画像のこと。

(例) 手術にはカルテのほかに、フィルムを忘れずに。

フェイタル ^{フェイタル} fatal 致死の、致命的な
命にかかわる、死を招く、の意。

フェイント ^{フェイント} faint 失神(発作)、気絶
意識を失うこと。

フェニールケトン尿症 ^{フェニルケトニューリア} phenylketonuria
常染色体劣勢遺伝の疾患
血中フェニールアラニン濃度が上昇し、脳の発達が障害される疾患。

フェニルアラニン ^{フェニルアラニン} phenylalanine アミノ酸の一つ
蛋白中の一般的なアミノ酸。L型は必須アミノ酸。

フォ(一)ビア ^{フォビア} phobia 恐怖症、病的恐怖
特定の事物や状況に対し、不合理に恐れること。不安障害の一つ。高所恐怖症、対人恐怖症、孤独恐怖症など。

ふくくうきょう 腹腔鏡
腹腔内検査を行うための器具。

ふくくうせんし 腹腔穿刺
腹腔内貯留液の性状鑑別、腹水の排除、薬液投与などのために行う腹腔腔内への穿刺。とくに、腹腔内出血の診断にはしばしば用いられる。

ふくこうかんしんけいさようやく 副交感神経作用薬
副交感神経を刺激したのと同様の効果のある薬物。副交感神経興奮薬、コリン作動(作用)薬。

ブジー ^{ブジー} bougie 消息子
体内の管腔の狭窄部を広げる棒状の器具。

ふしゅ 浮腫
むくみのこと。

ふずいいうんどう 不随意運動
自分の意思と無関係、または意思に逆らって生じる運動のこと。主に、大脳基底核、脳幹、小脳などの疾患で現れる。

ふせいみやく 不整脈
脈拍が乱れたもの。

ふぜんまひ 不全麻痺
麻痺の程度・分布による分類上の名称。麻痺の程度が不完全、または麻痺分布が部分的なものをさす。「完全麻痺」

は、骨格筋の随意運動を完全に失ったもの。

プライバシー ^{プライバシー} privacy 私生活、秘密
個人情報や秘密などをいい、それらがほかから干渉・侵害されない権利もさす。医療現場では個人的な情報を扱うので、管理の方法は十分気を配る必要がある。

(例) 大部屋は、極カプライバシーに配慮しましょう。

プライマリ(一) ^{プライマリ} primary 原発、第一次的
最初に発生すること。続発の対義語。

(例) プライマリはマンモ(乳房)でしょう。

プライマリーケア ^{プライマリー ケア} primary care 一次医療、初期治療
疫病や外傷の際に、最初に施される治療。

プライマリーヘルスケア ^{プライマリーヘルス ケア} primary health care
基本的保健医療
診断、治療、予防、健康増進、社会復帰などを含めた包括的保健医療。

プラシーボ placebo 偽(擬)薬、擬薬、プラセボ
治験薬の薬効を統計的に調べるための臨床実験(二重盲検法)に用いられる。薬理効果はないが、患者の心理的效果を与えることがある。乳糖など生理作用の物質で作られている。

プラス ^{プラス} plus 陽性
ある刺激に対して反応が現れること。陽性反応。

(例) 検査結果は、HIVプラスです。

フラストレーション ^{フラストレーション} frustration 欲求不満
なんらかの障害により、欲求が満たされていない状態。また、その結果生じる不安や緊張のこと。

(例) 忙しいとフラストレーションがたまる。

フラッシュ ^{フラッシュ} flush 注入
もとの意は「洗浄、噴出、一気に(どっと)流れること」。点滴ルートの側面(側注管)から薬剤を直接静脈に注射すること。

(例) 点滴を微量フラッシュしてください。

フラット ^{フラット} flat 平坦、(心電図上の)心停止
①ベッドなどを平らにすること。②モニター心電図の波形が平らになること(心停止)。

(例) 検査を行うので、ベッドをフラットにしてください。

ブラッドバンク ^{ブラッドバンク} blood bank 血液センター
旧血液銀行。輸血用血液の採血、検査、製造、供給を行う日本赤十字社の施設。

ブラディー ^{ブレイディー} brady- ゆっくり ^{ブレイディーカードィア} bradycardia 徐脈
1分間の脈拍数が60以下の場合を徐脈という。

関連語: tachy- 急速(になる)

(例) 心筋梗塞の下壁梗塞は、ブラディーになる。

プリオン ^{プリオン} prion プリオン、蛋白粒子

脳障害を起こす感染性の蛋白因子で、核酸を含まない。狂牛病ともいわれる牛海綿状脳症(BSE)や、ヒトのクロイツフェルト・ヤコブ病などの原因と推定されている。また、プリオンは、アルツハイマー病患者の脳にたまるアミロイドの一種でもあり、世界的な関心もたれている。

ブルート、ブラッド ^{ブルート} Blut(独) ^{ブラッド} blood(英) 輸血、血液
ブラッドは血液そのものをさす。臨床でブルートという場合、「輸血」のことをさすことがある。

(例) 貧血が進んでいるので、ブルートを使用します。

プルス、パルス ^{プルス} puls(独) ^{ポルス} pouls(仏) ^{パルス} pulse(英) 脈拍
動脈拍動のこと。

(例) バイタルサインには、BP(血圧)・P(プルス：脈拍)・KT(体温)・R(呼吸)がある。

(例) 看護記録の「P」はプルスのことです。

(例) プルスは規則的でしたか？不整ではなかったですか？

プレメディ ^{プリメディケーション} premedication 前投薬

手術時の麻酔が安全に行われるように、先立って行われる薬剤の投与、またはその薬。

(例) 術前にはセルシンなどのプレメディを使用し、鎮静します。

プロセスレコード ^{プロセス} process ^{レコード} record 看護記録の一つ
看護過程を記録したものの総称。または、患者と看護師の対人関係の経過を記録したもの。

(例) 行動を振り返る際には、プロセスレコードをとるとよい。

ブロック療法 ^{ブロック} block ^{セラピー} therapy 対症療法の一つ

神経痛などの鋭い痛みに対する療法。神経節に麻酔薬などを注入し神経の連絡を絶つ。

プロテイン ^{プロテイン} protein 蛋白質

窒素を含む高分子の有機物化合物。約20種のアミノ酸がペプチド結合により、それぞれが固有の配列で約50個以上にわたって連結したもの。

プロトロンビン ^{プロスロンビン} prothrombin 血液凝固の第Ⅱ因子

血液凝固に関与する因子の一つ。ビタミンK依存性凝固因子。

プンク ^{パンクチャー} puncture 穿刺

治療目的で、先端が鋭い針などの医療器具を人体に刺すこと。検査のために体内から血液や細胞を採取したり、治療のために胸腹水などの体内液を排液する。

(例) レントゲンで胸水が溜まっているので、プンクをします。

ふんごう 吻合

①樹状に分岐した血管や神経などが、連絡枝によって末梢

でつながること、またその連絡枝のこと(吻合枝)。②血管や腸管などが外科的、または病的につながった状態、またその内腔どうしを手術によってつなぐこと(吻合術)。

ぶんべん 分娩

妊娠子宮から胎児とその付属物が出ること、またその過程。

【へ】

ペーシエント ^{ペイシヤント} patient 患者、ペーシエント、ペイシエント
患者、病人のこと。

ペースメーカー ^{ペース} ^{メーカー} pace maker

脈拍調整器、心臓ペースメーカー

心臓に電気による刺激を与えることにより、心拍動を起こさせる装置。

(例) ペースメーカーには、体内式と体外式がある。

ベースン ^{ベースン} basin 桶、洗面器

消毒用の金属の桶。水などを入れる容器。

(例) 膿を受けるので、パスベースンを用意してください。

ベーチャット病(症候群)

^{ベーセツト} ^{ディジーズ} ^{ベーセツト} ^{シンドローム} Behcet disease, Bahcet syndrome 自己免疫疾患の一つ

陰部や口腔の潰瘍や虹彩毛様体炎がくり返し生じ、視覚障害や全身障害にも至る難病。

ペアン ^{ペアンズ} ^{フォーセプス} Pean's forceps ペアン鉗子(鉤なし)

フランスの外科医ペアンが発明した手術用の動脈止血鉗子。

(例) 手術中は、ペアンを使用し固定します。

ペインクリニック ^{ペイン} ^{クリニック} pain clinic 疼痛外来

手足・腰などの疼痛性疾患や内臓疾患からくる痛みを取り除く治療(分野)。慢性痛や難治疼痛が対象。

ペスト ^{プレグ} plague 伝染病の一つ

ペスト菌の感染によって起こる急性伝染病。主にノミの媒介でヒトにも感染する人獣共通伝染病。

ベッドバス ^{ベッド} ^{バス} bed bath 清拭

入浴やシャワー浴が出来ない患者の場合の、ベッド上でタオルを用いた保清の方法。

(例) 入浴できない患者の保清は、ベッドバスをする。

ペニシリンショック ^{ペニシリン} ^{ショック} penicillin shock ショックの一つ

ペニシリン注射で、体質によって急性に起こる過敏症状。

ヘパセイ、ヘパ生 ^{ヘパリン} ^{アイソトニック} ^{ソウディアム} ^{クロライド} heparin isotonic sodium choride

^{ソリューション} solution ヘパリン加生理食塩液

ヘパリン加生理食塩液とは、生ヘパ(ヘパリン原液)と生理食塩水を1対1000の割合にした混合液。ヘパロックを行うためのもの。ヘパリンは血液凝固阻止作用をもつ。

(例) 点滴がつかまらないように、ヘパ生でロックしてください。

ヘパロック ^{ヘパリン} ^{ロック} heparine lock 血液凝固阻止(防止)

血栓ができるのを防ぐために、ヘパ生(を留置針やカテーテルに満たして栓(lock))をすること。

(例) 抗生剤が終了したら、ヘパロックをしてください。

ヘマトクリット ^{ヒマトクリット、エイチティー} hematocrit(Ht) 赤血球容積率
血液中に占める赤血球の容積比の百分率。

ヘモ ^{ヒモロイズ} hemorrhoids 痔核

肛門部の静脈がうっ血してこぶ状になったもの。内痔核と外痔核の2種類ある。

(例) ヘモは外科の診療となる。

ヘモグロビン ^{ヒモグロビン} hemoglobin 血色素、ヘモグロビン

ヘモフィリア ^{ヒモフィリア} hemophilia 血友病

血液凝固に関する因子の欠乏により、止血機能が障害を起こし、出血しやすくなる病気。患者の約半分に遺伝関係がみられる。伴性劣勢遺伝で、女性は血友病の遺伝子をもっているが発病せず、男性に発病する。

関連語: hemophilic 血友病患者

ヘルツ ^{ヘルツ} Herz(独) heart(英) 心臓

もとは心臓の意味。臨床の現場では心臓病をさす場合もある。

(例) 高齢者はヘルツの合併症をもった人が多い。

ヘルニア ^{ハーニア} hernia ヘルニア

臓器または構造体の一部が、異常な位置に逸脱した状態。

ヘルペス ^{ハーペーズ} herpes 疱疹、ヘルペス

小水疱が群がって生じること。口唇や陰部に炎症を起こし、強い痛みを伴う。

ヘルペスウイルス ^{ハーペーズウイルス} herpesvirus 疱疹ウイルス

単純ヘルペスウイルス、サイトメガロウイルス、EBウイルスなどがある。

ヘレディタリー ^{ヒレディタリー} hereditary 遺伝性

遺伝性の病気という場合には、遺伝病(^{ヒレディタリー} hereditary disease)という言葉より、現在では次の世代に遺伝しない病気も含めた概念で「遺伝子疾患(Genetic disorder)」という言葉を用いる。

ベンチレーター ^{ヴェンチレーター} ventilator 人工呼吸器

自発呼吸できない人の肺に空気を送り込む機器。

(例) 挿管したので、ベンチレーターを使用します。

へんまひ、かたまひ 片麻痺

一側上下肢の運動麻痺。大脳皮質から頸髄上部までの間の障害による。

ペンライト ^{ペン ライト} pen light ペン型懐中電灯

瞳孔を観察するときや夜間の観察時に用いる。最近は、発光ダイオード(LED)のペンライトも臨床現場で使われるようになっている。

(例) 瞳孔をみるので、ペンライトをください。

ペンローズドレーン ^{ペンローズ ドレーン} Penrose drain

ペンローズ排液管(商品名)

術後の創に入れ、傷口内部にたまった血液や膿を排液する管。

(例) 術後にペンローズドレーンが何本挿入されているかを確認します。

【ほ】

ポータブル ^{ポータブル} portable 持ち運び可能な

持ち運び可能な大きさ、重さであること。また、持ち運び可能なそのものをさす。

(例) 術後のレントゲンはポータブルでお願いします。

ポータブルトイレ ^{ポータブル トイレ} portable toilet

簡易型トイレ、携帯型トイレ

持ち運び可能なトイレ。

ホームケア ^{ホーム ケア} home care 在宅看護

自宅で療養している患者を、医師や看護師が定期的に訪問して治療・看護を行う医療制度。

ホームドクター ^{ホーム ドクター} home doctor(和) ホームドクター

家庭医、かかりつけの医者。英語はfamily doctor。

ホームヘルパー ^{ホーム ヘルパー} home helper(和) ホームヘルパー

家事援助者。家庭奉仕員。とくに、介護保険法における有資格者の訪問介護員のことをいう。

ほうさんつう 放散痛

原因のある部位から離れたところに出る痛み(関連痛)の一つ。狭心症の場合、左肩から左上肢に痛みが放散する。このような痛みをいう。

ぼうまん 膨満

中がいっぱいになって膨れ上がった状態のこと。

ホジキン病 ^{ホジキンズ ディージーズ} Hodgkin's disease 悪性リンパ腫の一つ

巨核巨細胞が出現するという組織学的特徴がある。

ホスピス ^{ホスピス} hospice ホスピス

末期のがん患者など、死に近い患者のケアを行うための専門施設。

ほぞんけつ 保存血

採決して72時間から21日以内の血液。抗凝固薬、保存薬を加えて保存される。

ホメオスタシス ^{ホメオスタシス} homeostasis 恒常性、ホメオスタシス

生体が、気温や湿度などの外的環境の変化や、姿勢や運動などの内的(肉体的)環境の変化を受けながらも、個体またはシステムとして平衡性をめざす傾向のこと。生体恒常状態。

ポリープ ^{ポリプ} polyp 隆起性腫瘍、ポリープ

鼻、胃、大腸など主として粘膜にできる腫れもの。

ポリオ ^{ポリオ} polio 急性灰白髄炎

ポリオウイルス(poliovirus)による急性伝染病。経口的に感染し、脊髄の灰白質を侵す疾患。小児に多く、夏かぜに似た症状のあと、急に足や腕が麻痺して動かなくなる。

ホリスティック医学 ^{ホリスティック} ^{メディスン} holistic medicine

全体観的医学、全人医療

西洋医学、代替医療、伝統医療などの、あらゆる分野の治療法を活用し、心とからだをトータルに根治していくという考え方。患者主体で病気を癒すことを重視する。

関連語：^{ホリスティック} ^{ヘルス} holistic health 全人的健康、包括的健康

ポリペク(トミー) ^{ポリペクトミー} polypectomy ポリープ切除術

ポリープの内視鏡治療。ループ状のワイヤーを用いて高周波の電流を流し、大腸ポリープを切除する方法のこと。

(例) 明日、ポリペクがありません。

ホルター ^{ホルター} ^{イレктоロウカーディオグラム} Holter electrocardiogram ホルター心電図

心電図の記録が長時間できる携帯用の機器。一般的には、日常の活動中や就寝中の心電図を24時間連続して記録し、コンピューターで解析、再生する。

(例) 明日ホルターがあります。1日中、心電図をつけていてください。

ボンベ ^{ボンベ} ^{シリンダー} Bombe(独) cylinder(英) ボンベ、円筒形の容器

高圧ガスや液化ガスを貯蔵するための圧力容器。多くは円筒形。医療では「酸素ボンベ」をさすことが多い。

(例) 酸素ボンベを交換します。

【ま】

マーカー腫瘍 ^{トゥモール} ^{マーカー} tumor marker 腫瘍マーカー

ツモールマーカー。

マーゲン ^{マーゲン} ^{ストマック} Magen(独) stomach(英) 胃

マーゲンはドイツ語。英語のストマックよりも常用される。

関連語：^{マーゲン} ^{ゾンデ} ^{ストマック} ^{チューブ} Magen Sonde(独) stomach tube(英) 胃管

(例) マーゲンカルチ(胃がん)の患者さんが入院した。

マイクロスコープ ^{マイクروسコフ} microscope 顕微鏡

光学顕微鏡、電子顕微鏡などをさす。

マイコプラズマ ^{マイクオプラズマ} mycoplasma 微生物の一つ

最近とウイルスの中間の性状をもつグラム陰性の微生物。

マイナス ^{マイナス} minus 陰性

ある刺激に対して反応がないこと。陰性反応。

マウスケア ^{マウス} ^{ケア} mouth care 口腔ケア

口腔内を清潔に保つこと。本人が歯ブラシが使えない場合は、綿棒に水や含嗽薬をつけて口腔内清拭を行う。

(例) 挿管中の人は、肺炎予防として1日3回のマウスケアをします。

マウスツーマウス法 ^{マウス} ^{ツーマウス} mouth-to-mouth 人工呼吸法の一つ

口から口へ直接息を吹き込む、口移し式の人工呼吸法。

マクロファージ ^{マクロファージ} macrophage 大食細胞、マクロファージ
食食能を有する大型細胞。

マスク ^{マスク} mask マスク

寒気やほこり、ウイルスの感染などを防ぐために、口・鼻を覆うもの。防毒マスクをさす場合もある。

(例) 感染防止には、ガウン、マスクを着用します。

マタニティ ^{マタニティ} maternity 母性

母であること、母らしさのほか、産科・産院、妊婦、妊婦服(マタニティドレス)などのこともさす。

マタニティーブルー ^{マタニティ} ^{ブルー} maternity blue 一過性のうつ症状

出産直後の女性が陥りやすい一過性のうつ症状、精神不安定。ホルモンの失調による。

マップ ^{マップ} ^{マニトール} ^{アデニン} ^{ファスフェイト} ^{ソリューション} MAP (manitol-adenine-phosphate solution)

赤血球MAP(赤血球保存用添加液)

現在は、赤血球濃厚液-LR(RCC-LR)、照射赤血球濃厚液-LR(lr-RCC-LR)が用いられる。LR(^{ルコサイト} ^{リデュースト} Leukocytes Reduced)は「白血球を減少させた」の意。

(例) 輸血をします。マップ2単位準備してください。

マラリア ^{マレイリア} Malaria 熱帯性の感染症

熱帯・亜熱帯地方特有の熱病で、ハマダラ蚊の媒介によって感染する。

マリグナント ^{マリグナント} malignant 悪性(の)、有害な、不吉な

医療では「悪性～」として用いられる。

関連語：^{ベニン} benign ベニン(良性)

(例) ここは、マリグナンツモール(悪性腫瘍)の人が多い。

マルク、ボーンマロー

^{マルク} ^{ボーン} ^{マロー} ^{パンクチャー} Mark(独) 骨髄 bone marrow puncture(英) 骨髄穿刺

採血だけでは判断できないものについて、骨髄穿刺針で骨髓腔から骨髓液を吸引して細胞の状態を調べる手法。

(例) ロイケミの診断には、マルクを使います。

マンシエツト ^{マンシエツト} manchette 血圧測定用の圧迫帯

血圧を測る際、腕に巻いて空気を入れて締めつける袋のこと。

(例) 血圧を測るので、マンシエツトを巻きます。

まんしょう 満床

病院においてベッドが満員で、空きがない状態。

【み】

ミエロ ^{マイエログラフィー} myelography 脊髓造影

脊髓腔(クモ膜下腔)に造影剤を入れ、患者の体位を変えて頸椎から仙椎までの造影剤の流れを観察し、X線透視(またはX線写真の撮影)によって診断する方法。

(例) ミエロの後は、絶対安静です。

ミエロパシー ^{マイエロパシー} myelopathy 脊髓障害、骨髄障害

悪性腫瘍(がん)に伴って起こる運動・視覚麻痺などの急性

疾患。

ミオグロビン ^{マイオグロビン} myoglobin

ミオグロビン、筋肉ヘモグロビン

分子内にヘムを一つだけ含む筋肉の酸素運搬蛋白。

ミオパシー ^{マイオパシー} myopathy 筋障害

主として、骨格筋を侵す筋疾患の総称。

【む】

ムーンフェイス ^{ムーン フェイス} moon face 満月様顔貌

副腎皮質からのステロイドホルモンの過剰分泌や、ステロイドの連用による有害作用の発現の一つ。

むこうせし 無鉤鑷子

鉤なし(先端の爪部分)の鑷子。鑷子はピンセットのこと。

むによろ 無尿

1日の尿量が100ml以下の場合。500ml以下の場合「乏尿」という。

ムンテラ(ムントセラピー) ^{ムント テラピー} Mund Therapie(独)

^{ベイヤント ティーチング} patient teaching(英) 医師からの説明

一般的には医療従事者(医師や看護師)が患者および家族に対し、診断、治療について説明すること。「ムント」は「口」という意味。現在は「インフォームドコンセント」を使う。

ムンプス ^{マンプス} mumps おたふくかぜ、流行性耳下腺炎

ムンプスウイルス感染によって起こる急性伝染病。高熱が出て耳下腺が腫れるのが特徴。学校伝染病の一つ。

【め】

メカニズム ^{メカニズム} mechanism しくみ、組織

ものごとのしくみのこと。機械の装置(メカ)やしかけをさすこともある。

(例) 解剖生理で体内のメカニズムを学習する。

メジャー ^{メジャー} measure ものさし、巻き尺

「計量、定量」「基準、尺度」などの意味があり、医療現場では巻き尺をさすことが多い。

(例) 腹位はメジャーで計測します。

メス ^{メス} mes(蘭) ^{オペレイティング ナ이프} operating knife(英) メス

外科手術や解剖の際に用いる医療用刃物。電気メスは「電メス」という。

(例) オペは、止血も兼ねて電メスが使用される。

メディカル エンジニアリング ^{メディカル エンジニアリング} medical engineering

(ME) 医用工学、医用電子学、ME

医学と工学の境界領域。

メディカル ソーシャル ワーカー ^{メディカル ソーシャル ワーカー} medical social worker

医療ソーシャルワーカー、医療社会事業家

医療に関する社会福祉の専門職。

(例) 生活保護を受けている方などが入院してきたときに、

メディカルソーシャルワーカーを依頼する。

メディカルチェック ^{メディカル チェックアップ} medical checkup

健康診断、身体検査

運動や競技の開始前に行う医学的な診断。

メディカルテクノロジスト ^{メディカル テクノロジスト} medical technologist(MT)

メディカルテクノロジスト、MT

衛生検査技術や臨床検査技師などの各種医療関係技術者。

メディケア ^{メディケア} Medicare 医療・健康保険制度

アメリカの65歳以上の高齢者、身体障害者に対する国の医療・健康保険制度。

メディスン ^{メディスン} medicine 医学、医療、薬剤

学問としての医学と、その社会的適用としての医療、そのどちらも西洋医学ではメディスンであり、区別がない。

メニエール病 ^{メニエールズ ディゼース} Meniere's disease メニエール病

めまいが発作的にくり返し起こる疾患。診断基準が定められている(内リンパ水腫に起因し、めまい、耳鳴り、難聴の3症状がある)。しばしば、嘔気、嘔吐を伴う。

メラトニン ^{メラトニン} melatonin ホルモンの一つ。

脳の松果体から分泌されるホルモン。性腺機能を抑制する。松果体内・血中・尿中の濃度は夜に高く、昼は低い。

メラニン ^{メラニン} melanin メラニン(色素)

種々の動物の組織内にある褐色ないし、黒色の色素。その量により、毛髪や皮膚および目の網膜の色が決まる。

メラノーマ ^{メラノーマ} melanoma 悪性黒色腫

メラニン色素沈着細胞からなる黒色腫瘍。悪性新生物。

メレ(一)ナ ^{メレナ} melena 止血

上部消化管(食道、胃、十二指腸)から出た血液が、消化管を通過して肛門から排出されること。メレナ(語源に黒色の意)といわれるとおり、下血したものは黒色便で、黒色の便はタール便とも呼ばれる。

メンタル ^{メンタル マインド} mental, mind 精神(的)、心理的

精神に関する状態のこと。

関連語: mental health 精神的健康、精神衛生

^{メンタリティ} mentality 知能、知性、精神作用

(例) 身体的な部分より、メンタルが病んでいるので心療内科を受診します。

【も】

モスキート ^{モスキート} mosquito 鉗子の一つ

モスキートは「蚊」の意味で、主に小さい血管の保持、止血のために用いられる小鉗子。

関連語: mosquito forceps モスキート止血鉗子

(例) 今日の包交(包帯交換)はモスキートを使います。

モニター ^{モニター} monitor 患者監視装置

手術室、ICU、新生児室、分娩室などで用いられる患者の

状態を持続的に監視する装置。心電図のほか、心拍数、呼吸数、体温、血圧などの監視項目がある。

(例) モニターアラームは内容を確認し、すぐに対処する必要がある。

モニタリング ^{モニタリング} monitoring 監視する、モニター監視

日常、継続的に行う点検のこと。一般的には、企業の消費者調査や社会福祉などにおいて、関係者のサービスを評価するときなどに行われる。医療の現場では、モニターを監視するという意味。

(例) 重症患者は、常時モニタリングしたバイタルサインを管理する。

【や】

やくしん 薬疹

薬剤による副作用の一つで、皮疹を生じること。軟膏類などの薬剤が直接皮膚に接触して起こる皮疹は「薬物性皮膚炎」という。

【ら】

ラーニング ディサアビリティ

^{ラーニング} ^{ディサアビリティ} ^{エルディー} learning disability (LD) 学習障害、LD

知能や身体機能(聴覚、視覚など)には障害がなく、読み書きや計算など、意識を集中する能力に欠けるため、学習が困難な状態。中枢神経系の発達にわずかな偏りがあると推定されている。

関連語: ^{アテンション} ^{デフィシット} ^{ハイパーアクティビティ} ^{ディスオーダー} Attention Deficit/Hyperactivity Disorder (AD/HD) ^{エーディー} ^{エイチディー} 注意欠陥・多動性障害、AD/HD

ライフサイエンス ^{ライフ} ^{サイエンス} life science ライフサイエンス
生命科学・生命過程を扱う総合科学。

ライン ^{ライン} line 管

点滴の管のこと。

(例) 体交するとき、モニターや点滴ラインに注意する。

ラウンド ^{ラウンド} round 巡回、見回り、回診

看護師にとってのラウンドは病棟や病室の巡回、見回りをさす。医師について使う場合は回診。

(例) 深夜勤務では、2時間ごとにラウンドする。

ラプチャー ^{ラプチャー} rupture 破裂

血管が裂けて砕けること。

(例) 血圧が高い人は、動脈瘤がラプチャーしやすい。

ラポール ^{ラポール} rapport (仏) 関係

精神分析の治療において、医師と患者との親密な信頼関係を表す。英語の ^{リレーション} relation にあたる。

ラマーズ法 ^{ラマーズ} ^{メソッド} Lamaze method 分娩法の一つ

無痛(自然)分娩の一つで、呼吸法とリラックス法の訓練で

分娩の痛みをやわらげる。

ランゲルハンス島 ^{アイレット} ^{オブ} ^{ランゲルハンス} islets of Langerhans 膵島

膵臓の組織の中でインスリンを分泌する、島のような形の内分泌腺組織。

【リ】

リアクション ^{リアクション} reaction 反応、反動、反作用

医療では、とくに刺激(物)に対する反応をさす。

リウマチ ^{リウマチズム} rheumatism リウマチ

関節・筋肉およびこれらに関連する部分が痛む、または硬直して痛むという特徴のある疾患の総称。

リカバリー ^{リカバリー} recovery 回復

一度失ったものを取り戻すこと。

関連語: ^{リカバリー} ^{ルーム} recovery room 回復室、リカバリー室

(例) 術後は数時間、リカバリー室に入室する。

りかん 罹患

病気にかかること。一定期間(通常は1年)における罹患患者の単位人口(100人、1000人、10万人など)に対する割合を「罹患率(罹病率)」という。

リケッチア ^{リケッチア} rickettsia 微生物の一つ

グラム陰性菌に似たリケッチア科の細菌。通常は球状または桿(さお)状で、細菌よりも小さくウイルスよりも大きい。

リスクマネジメント ^{リスク} ^{マネジメント} risk management 危機管理

医療におけるリスクマネジメントは医療事故防止に努め、患者・家族・職員の安全を確保することにある。

(例) 各病院でリスクマネジメントが叫ばれている。

リセプター、レセプター ^{レセプター} receptor レセプター、受容体
細胞膜や細胞分子内にあり、細胞外からの物質や光を選択して受け入れる分子のこと。光レセプター、物質レセプターなど。

リドカイン ^{リドカイン} lidocaine 麻酔薬の一つ

不整脈の治療などに用いられる合成局所麻酔薬。

りにようやく 利尿薬

尿量を増加させる薬。浮腫を消退させる。

リネン ^{リネン} linen 麻布、リンネル

病床で使われるシーツやカバー、タオル類をさす。病棟では、リネン室の中で清潔に保管されている。

(例) リネン室は地下にあります。

リハ ^{リハビリテーション} rehabilitation

リハビリテーション、機能訓練、社会復帰

障害を受けた人の身体的、精神的、社会的な能力を、その人にとって適した状態まで回復させること。

関連語: ^{リハビリテーション} ^{メディスン} rehabilitation medicine

リハビリテーション医学

^{リハビリテーション} ^{ナーシング} rehabilitation nursing

リハビリテーション看護

(例) 麻痺時には、早急なリハを必要とする。

リパーゼ ^{ライペイス} lipase 加水分解酵素の一つ

中性脂肪のエステル結合を加水分解し、脂肪酸とグリセロールにする反応に触媒する酵素。

リビングウエル ^{リヴィング ウィル} living will リビングウィル、尊厳死に関する生前の意志(意思)表示

延命措置を行わず、死に至ることを希望し、それを生前に表示しておく文書。

リンパ ^{リンフ} lymph リンパ(液)

リンパ管の中にある組織液。毛細血管などから漏れた血漿の約10%がリンパ管に吸収される。リンパ液は、鎖骨下静脈に入って循環系に戻される。

リンパ系 ^{リンファティック システム} lymphatic system リンパ系

リンパ管、リンパ節、脾臓、胸腺などの器官で、組織液を循環系に戻すシステムのこと。

【る】

ルート ^{ルート} route 経路、路線

病棟でルートというと、点滴ラインのことをさす。

(例) 緊急時にはルート確保をいちばんに行う。

るいそう るい瘦

やせ衰えること。明らかな体重減少。

ルゴール液、ルゴールソリューション ^{ルゴール ソリューション} Lugol solution

ヨウ素・ヨウ化カリウム液

ヨウ素にヨウ化カリウムを加えた水溶液。殺菌・殺カビ・刺激薬などであり、甲状腺腫や咽喉炎、歯肉炎などに用いられる。

【れ】

レイノー症候群 ^{レイノーズ シンドローム} Raynaud's syndrome レイノー症候群

寒冷、情動で誘発される四肢小動脈攣縮による両側指のチアノーゼ症を「レイノー現象」という。このうち、膠原病などを伴う場合を「レイノー症候群」、原因疾患がない場合を「レイノー病」という。

レーザーメス ^{レーザー} Laser (英) + mes (蘭) レーザーメス

レーザー光のエネルギーを用いた手術用のメス。

レジオネラ菌 ^{レジオネラ} Legionella (ラ) 桿菌の一つ

グラム陰性菌。水や土壌、およびビルや病院内の冷却塔水、給湯系(水温4~5℃前後)で生息。

レシピエント ^{レシピエント} recipient レシピエント

受血者。輸血または他の注射液の注輸を受ける患者。また、ドナーから臓器移植を受ける人。

レスピ ^{レスピレーション} respiration 呼吸

肺胞内の空気と血液の間でガス交換を行う外呼吸(肺呼吸)と血液と末梢組織との間でガス交換を行う内交換(組

織呼吸)がある。一般的には外呼吸をさして呼吸という。

レスピレーター、レスピ ^{レスピレーター} respirator 人工呼吸器
ベンチレーターと同義語。

(例) 呼吸管理はレスピで行います。

(例) 呼吸器内科病棟には、レスピを使用している人が多い。

レセプト ^{レシート} receipt 診療報酬明細書

医療費は、「個人が医療機関で支払う(自己負担)額」と「支払基金による審査のあと、個人が加入する保険者(健康保険組合など)が支払う額」の合計額。医療機関が保険者(保健機構)に医療費を請求するときの明細書がレセプト。

(例) 月末、医師はレセプト(の整理)で忙しくなる。

レトロウイルス ^{レトロウイルス} retrovirus レトロウイルス

遺伝物質としてRNAをもち、感染細胞内でDNAを合成するウイルスの総称。

レントゲン ^{レントゲン} roentgen レントゲン写真、X線写真
エクスレイ参照。

(例) 健康診断では必ずレントゲンを撮ります。

【ろ】

ローテ ^{ローテス} Rotes Blutkörperchen (独)

^{アールビーシー} RBC (red bloodcell) (英) 赤血球

血液中の有形成分の約99%を占め、血液全体の40~50%に相当する。下記の実用例のとおり、ブルートと同様に、輸血の意味で使われることがある。

(例) 至急、ローテを実施する準備をしてください。

ローテーション ^{ローテーション} rotation 交替、輪番

時間や場所を交替で勤務することをさす。病棟などの場合は24時間体制で看護をするため、時間でローテーションが組み込まれている。

(例) 看護師の勤務はローテーションである。

ローファットミルク ^{ロウ ファット ミルク} low-fat milk 低脂肪乳

低脂肪の牛乳。乳脂肪分が脱脂乳よりは多いが、一般的な牛乳よりは少ない。

ロールシャッハテスト ^{ローシャック テスト} Rorschach test

投影法性格検査の一つ

インクのしみなどで作った左右非対称の図版を見せ、何に見えるかによって人格の診断を行う。

ロールプレー ^{ロール プレイ} role play

役割実演、ロールプレー(イング)

各人の役割を想定して実際に演技させて訓練する方法。

ローレル指数 ^{ローレル インデックス} Rohrer index ローレル指数

標準体重を求める方法の一つ。体重(g)÷[身長(cm)]³×10⁷により計算する。130くらいが標準でプラス・マイナス30になると、肥満・やせすぎと判定される。学童期を中

心に用いる。

ロイケミー、リューケミア ^{リューケミア} leukemia 白血病
造血組織の悪性腫瘍。骨髄性とリンパ性に大別される。

(例) ロイケミーの患者は、入退院を繰り返す。

ろう(こう) 瘻(孔)

組織深部の膿瘍によって生じる穴。深部の臓器が体内やほかの臓器と通じている。胃、腸などへの栄養補給や、内容物の排出のため人工的に作る場合もある。「フィステル(fistel) <独>」ともいう。

【わ】

ワイセ ^{ワイゼン} Weisen ^{ブルートコルペンヘン} Bluktorpenchen(独)

^{ダブルピーシー} WBC (white blood cell) (英) 白血球

末梢血の血球のうち核を有する細胞。起源や形態から、好中球、好酸球、好塩基球、リンパ球、単球に分けられる。

(例) かぜをひくと、炎症所見であるワイセが高値を示す。

ワクチン ^{ヴァクシーン} vaccine ワクチン

感染症を予防するために接種する薬剤。生きた病原体は生ワクチン、殺したウイルスや病原細菌を用いるのは不活化または死菌ワクチン。

関連語: ^{ライブ} live ^{ヴァクシーン} vaccine 生ワクチン

^{ヴァクシネーション} vaccination ワクチン接種

(例) ポリオは生ワクチンである。

ワッサー ^{デルティレルテス} Dertilertes Wasser (独) ^{ワッサー} ^{ディスティルド} distilled water (英) ^{ウオーター}

蒸留水

無色澄明、無味無臭の注射用水(蒸留水)。

(例) 点滴にワッサーを10cc、混注してください。

ワッセルマン(反応) ^{ワッセルマン} Wassermann reaction ^{リアクション} 梅毒血清反応

ドイツの細菌学者ワッセルマンが考案した梅毒血清反応。梅毒補体結合反応ともいう。

(例) 手術前、感染症検査にはHIV・HCV・Wa(ワッセルマン)を行う。

【A】

A-C bypass 大動脈冠状動脈バイパス術
aorto-coronary artery bypass procedure

ADL 日常生活動作 activities of daily living

AF 心房細動[粗動] atrial fibrillation[flutter]

Ag 抗原 antigen

AHF 抗血友病因子 antihemophilic factor

AIDS 後天性免疫不全症候群(エイズ)
acquired immunodeficiency syndrome

ALL 急性リンパ性白血病 acute lymphocytic leukemia

ALS 筋萎縮性側索硬化症

amyotrophic lateral sclerosis

AML 急性骨髄性白血病 acute myelocytic leukemia

APTT 活性化部分トロンボプラスチン時間
activated partial thromboplastin time

ARDS 成人型呼吸窮迫症候群
adult respiratory distress syndrome

ASO 閉塞性動脈硬化症 arteriosclerosis obliterans

ATL 成人T細胞白血病 adult T-cell leukemia

AV 房室 atrioventricular

AVM 動静脈奇形 arteriovenous malformation

【B】

b. i. d. 1日2回 bis in die(twice a day)

BMR 基礎代謝率 basal metabolic rate

BP 血圧 blood pressure

BS 血糖 blood sugar

BT 体温 body temperature

BT 出血時間 bleeding time

BT 脳腫瘍 brain tumor

Bx, bx 生検、バイオプシー biopsy

【C】

CAG 冠動脈造影法 coronary angiography

CBC 全検血、全血球計算 complete blood count

CC 主訴 chief complaint

CCU 冠動脈疾患集中治療室 coronary care unit

CEA がん胎児性抗原 carcinoembryonic antigen

CLL 慢性リンパ性白血病
chronic lymphocytic leukemia

CML 慢性骨髄性白血病
chronic myeloid[myelocytic] leukemia

CNS 中枢神経系 central nervous system

c/o, CO ~の訴え complained of

CP 脳性麻痺 cerebral palsy

CPR 心肺蘇生法 cardiopulmonary resuscitation

CT コンピュータ断層撮影 computed tomography

CT 脳腫瘍 cerebral tumor

CVA 脳血管障害 cerebral vascular accident

CVD 心臓血管疾患 cardiovascular disease

【D】

DBP 拡張期血圧 diastolic blood pressure

dis 退院 discharge

DM 糖尿病 diabetes mellitus

DM 拡張期雑音 diastolic murmur

【E】

ECG 心電図 electrocardiogram

【F】

FBS 空腹時血糖 fasting blood sugar

FUO 不明熱 fever of unknown origin

Fx 骨折 fracture

【G】

GB 胆嚢 gallbladder

GO 笑気・酸素(笑気麻酔) gas and oxygen

GP 一般開業医 general practitioner

GPT グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ
glutamic pyruvic transaminase

γ-GTP γ-グルタミールトランスぺプチダーゼ
γ-glutamyl transpeptidase

GTT ブドウ糖負荷試験 glucose tolerance test

g t t 滴 guttae(drops)

【H】

HAV A型肝炎ウイルス hepatitis A virus

Hb ヘモグロビン hemoglobin

HBP 高血圧 high blood pressure

HBV B型肝炎ウイルス hepatitis B virus

HCC 肝細胞がん hepatocellular carcinoma

HD 血液透析 hemodialysis

Hgb ヘモグロビン hemoglobin

(H)PI 現病歴 (history of)present illness

HR 心拍数 heart rate

Ht ヘマトクリット hematocrit

【I】

ICU 集中治療室 intensive care unit

IDDM インスリン依存性糖尿病
insulin-dependent diabetes mellitus

Ig 免疫グロブリン immunoglobulin

IM, i.m. 筋肉内に intramuscular

ITP 特発性血小板減少性紫斑病
idiopathic thrombocytopenic purpura

IV 静脈内に intravenous

IVH 中心静脈栄養、高カロリー輸液
intravenous hyperalimentation

【L】

LA 左心房 left atrium

LBBB 左脚ブロック left bundle branch block

LBW 低出生体重 low birth weight

LC 肝硬変 liver cirrhosis

LV 左心室(左心室性) left ventricle(ventricular)

LVH 左室肥大 left ventricular hypertrophy

lymph リンパ球 lymphocyte

【M】

MCH 平均赤血球ヘモグロビン量
mean corpuscular hemoglobin

MI 心筋梗塞 myocardial infarction

MRI 磁気共鳴画像法 magnetic resonance imaging

MRSA メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
methicillin resistant Staphylococcus aureus

MS 多発性硬化 multiple sclerosis

【N】

NC 特記すべきことなし non-contributory

NG tube 経鼻胃管 nasogastric tube

NR 正常範囲 normal range

【O】

OT 作業療法(士) occupational therapy[therapist]

【P】

P 脈拍(数) pulse(rate)

PD パーキンソン病 Parkinson's disease

PEEP 終末呼気陽圧
positive end-expiratory pressure

PH 既往歴 past history

PI 現病歴 present illness

PM ペースメーカー pacemaker

PR, p.r. 脈拍数 pulse rate

PSD 心身症 psychosomatic disease

Pt 患者 patient

PT プロトロンビン時間 prothrombin time

PTC 経皮経肝の胆道造影
percutaneous transhepatic cholangiography

PTCA 経皮経管動脈形成術
percutaneous transluminal coronary angioplasty

PTCR 経皮経管動脈血栓溶解術
percutaneous transluminal coronary recanalization

PVC 心室性期外収縮
premature ventricular contraction

【Q】

QOL 生活の質、生命の質 quality of living/life

【R】

R 呼吸(数) respiration

RA 関節リウマチ rheumatoid arthritis

RA 右心房 right atrium

RBBB 右脚ブロック right bundle branch block

RBC 赤血球(数) red blood cell(count)

RF リウマチ熱 rheumatic fever

RF リウマチ因子 rheumatoid factor

RK 直腸癌 Rectumk krebs(rectal cancer)

ROM 関節可動域 range of motion

RR 呼吸数 respiratory rate

RV 右心室(性) right ventricle(ventricular)

【S】

SAH くも膜下出血 subarachnoid hemorrhage

SEM 収縮期駆出性雑音 systolic ejection murmur

SH 社会歴 social history

(S)LE (全身性)エリテマトーデス
(systemic)lupus erythematosus

SOAP 主観的データ、客観的データ、評価、計画
subjective data, objective data, assessment, plan

【T】

T 体温 temperature

T 腫瘍 tumor

TB(C) 結核 tuberculosis

TG 中性脂肪 triglyceride

TH 甲状腺ホルモン thyroid hormone

TIA 一過性虚血発作 transient ischemic attack

TP 総蛋白 total protein

TPN 完全静脈栄養、高カロリー輸液
total parenteral nutrition

TSH 甲状腺刺激ホルモン
thyroid-stimulating hormone

【U】

UA 尿酸 uric acid

URI 上気道感染症 upper respiratory tract infection

UTI 尿路感染症 urinary tract infection

【V】

VC 肺活量 vital capacity

VS バイタルサイン vital signs

【W】

WB 全血 whole blood

WBC 白血球(数) white blood cell(count)

【X, Y, Z】

y/o 歳(年齢) years old

【主な全身疾患の分類】

1	循環器疾患	高血圧症 狭心症 心筋梗塞 感染性心内膜炎
2	呼吸器疾患	気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患(COPD) 間質性肺炎 肺塞栓症
3	消化器疾患	胃・十二指腸潰瘍 肝炎・肝障害 胃食道逆流症
4	血液疾患	白血病 悪性リンパ腫 再生不良性貧血 突発性血小板減少性紫斑病
5	腎泌尿器疾患	慢性腎不全 ネフローゼ症候群 糸球体腎炎
6	自己免疫疾患	全身性エリテマトーデス 関節リウマチ シェーグレン症候群 ベーチェット病
7	内分泌・代謝疾患	糖尿病 甲状腺機能障害
8	脳神経筋疾患	脳梗塞 脳出血・くも膜下出血 パーキンソン病 脊髄小脳変性症 筋萎縮性側索硬化症
9	精神神経疾患	統合失調症 うつ病・躁うつ病 認知症
10	その他	感染症 アレルギー疾患 婦人科疾患 口腔乾燥症 骨粗鬆症

【代表的な薬の分類】

1. 循環器疾患

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能	
【高血圧症】	利尿剤	トリクロルメチアジド フロセミド	フルイトラン ラシックス	循環血液量を減少させることにより、血圧を低下させる。	
	β遮断薬	アテノロール	テノーミン	心臓の収縮力を低下させ、血圧を低下させる。	
		プロプラノロール塩酸塩 カルテオロール塩酸塩	インデラル ミケラン		
	カルシウム拮抗薬	アムロジピンベシル酸塩	ノルバスク	動脈壁の細胞へのカルシウム流入を妨げ、血管を拡張させることにより、血圧を低下させる。 *グレープフルーツとの併用により、カルシウム拮抗薬の作用増強（アムロジピンはまれ）	
		アムロジピンベシル酸塩 ニカルジピン塩酸塩	アムロジン ペルジピン		
		ニフェジピン	アダラート		
		マニジピン塩酸塩	カルスロット		
	アンジオテンシン変換酵素(ACE阻害薬)	エナラプリルマレイン酸塩 リシノプリル	レニベース ロンゲス	血管収縮を起こすホルモンであるアンジオテンシンⅡの量を減少させて血圧を下げる。	
	アンジオテンシン受容体拮抗薬(AⅡ拮抗薬)	ロサルタン カリウム カンデサルタンシレキセチル	ニューロタン プロプレス	血管収縮を起こすホルモンであるアンジオテンシンⅡの作用を抑制することによって、血圧を下げる。	
	α遮断薬	ドキサゾシンメシル酸塩	カルデナリン	血管への交感神経の働き(α作用)を抑制して血管を拡張させることにより、血圧を低下させる。	
中枢性交感神経抑制薬	メチルドパ	アルドメット	交感神経を抑制して血管を拡張し、血圧を下げる。		
【狭心症・心筋梗塞(虚血性心疾患)】	硝酸薬	ニトログリセリン	ニトログリセリン	冠状動脈を拡張し、心筋への酸素の供給量を増加させたり、静脈系や末梢動脈の拡張を起こし、心筋の酸素消費量を減少させる。	
	*硝酸薬は胸痛等発作時頓服の傾向が多い	硝酸イソソルビド	ニトロペン ニトロール		
	β遮断薬	アテノロール	テノーミン	心臓の仕事量を減らして心筋の酸素消費量を減少させることで症状を改善する。	
		カルテオロール塩酸塩	ミケラン		
	カルシウム拮抗薬	アムロジピンベシル酸塩	ノルバスク	心拍数の減少作用、冠状動脈を拡張して、心筋への酸素供給量を増加すると同時に血管拡張により血圧を低下させることによって、心筋の酸素消費量を軽減させる。	
		ニフェジピン	アダラート		
		ジルチアゼム塩酸塩	ヘルベッサー		
	抗血栓薬	a.血液凝固阻止剤	ワルファリンカリウム*)	ワーファリン	血液を固まりにくくして心筋梗塞に進むことを予防したり、心臓の冠状動脈の手術などを行った後の閉塞予防を目的に使用。
		b.抗血小板薬	チクロピジン塩酸塩	パナルジン	
		アスピリン	バイアスピリン		
クロピドグレル硫酸塩		プラビックス			

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
<p>低カリウム血症</p> <p>徐脈、傾眠、末梢の冷汗、喘息の悪化</p> <p>動悸、立ちくらみ、顔面潮紅、頭痛、足首のむくみ、歯肉増殖</p> <p>空咳の頻発</p> <p>高カルシウム血症</p> <p>不整脈、失神、めまい、頭痛、動悸、肝機能異常</p> <p>めまい、立ちくらみ、眠気、食欲不振</p>	<p>①ストレスの軽減 歯科処置中の痛みや不安、恐怖は血液中のアドレナリン、ノルアドレナリン濃度を上昇させ、血圧を上昇させるため、注意・配慮が必要</p> <p>②局所麻酔薬のアドレナリン使用量の制限 局麻に添加されているアドレナリンも一緒に血管内に吸収され、血圧を上昇させることになるため、使用量の制限や、アドレナリンが含有されていないものを使用するなどの注意が必要</p> <p>③モニタリング 血圧計、必要に応じて心電図を使用し、管理が必要。</p> <p>④血圧降下剤を内服している場合、デンタルチェアを急に起こしたり、急に立ち上がると起立性低血圧を起こす可能性が高いので注意が必要</p>
<p>血圧低下、潮紅、頭痛、動悸</p> <p>徐脈、傾眠、末梢の冷汗、喘息の悪化</p> <p>動悸、立ちくらみ、顔面潮紅、頭痛、足首のむくみ、歯肉増殖</p> <p>【使用禁忌：心不全】</p> <p>観血処置時の止血困難</p> <p>*ワルファリンカリウム</p> <p>①グラケール等ビタミンK製剤禁忌</p> <p>②ビタミンKを多く含む、納豆・青汁・クロレラ禁忌</p> <p>③他の抗血小板薬と併用の患者は、脳出血等のリスク↑</p>	<p>①重症度の評価 必要があれば主治医に対診し、必要な情報を得て、虚血性心疾患の種類(狭心症・心筋梗塞)や日常生活上での予備力を明らかにする。酸素投与や発作時に備え、亜硝酸薬などの冠状動脈拡張薬を準備する。 心筋梗塞発症後6カ月以内の歯科治療は原則禁忌</p> <p>②モニタリング 血圧、脈拍、SpO₂のモニタリングは基本、必要に応じて心電図を使用し、管理が必要。</p> <p>③血中カテコールアミン濃度上昇の予防 局麻使用の場合は、アドレナリンの利点を發揮させ、かつ循環に影響を与えないように注意。 フェリプレシン(交感神経系を刺激しない血管収縮薬)添加の局麻薬は冠状動脈収縮作用があるので、注意が必要</p> <p>④抗血栓薬服用患者 止血が困難になることが予想されるが、不用意に抗血栓薬の内服中断の指示を出すべきではなく、局所的な止血処置で対応する</p>

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能
【感染性心内膜炎】	[抗菌薬]			
	ペニシリン系	アモキシシリン水和物	サワシリン	細菌の細胞壁の合成を抑えることで、殺菌的に作用
	セフェム系	セファレキシン セファドロキシル	ケフレックス ドルセファン	
	リンコマイシン系	クリンダマイシン塩酸塩	ダラシン	細菌の蛋白質の合成を阻害することで、その増殖を抑える。(静菌作用)
	マクロライド系	アジスロマイシン水和物 クラリスロマイシン	ジスロマック クラリス	

2. 呼吸器疾患

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能
【気管支喘息】	ステロイド (吸入)	ベクロメタゾンプロピオン酸エステル	キュバール	抗炎症作用 吸入薬効果が得られない重症例や急性期に処方
	ステロイド (内用)	フルチカゾン プロピオン酸エステル プレドニゾン	フルタイド プレドニン	
	[気管支拡張薬]			抗炎症作用 気管支を広げる 有効成分「テオフィリン」の徐放製剤 喘息に深くかかわるロイコトリエンという体内物質をおさえる。 アレルギーを予防する薬 アトピー型や比較的軽い喘息向き
	β 刺激薬	ベタメタゾン	リンデロン	
	テオフィリン製剤	プロカテロール塩酸塩 テオフィリン	メプチン テオドール	
[抗アレルギー薬] (ロイコトリエン受容体拮抗薬)	プラナルカスト水和物 モンテルカストナトリウム	オノン キプレス シングレア		
		*現在、喘息の治療は、小児・成人共に、「 β -刺激薬+ステロイド」の合剤 (ex: アドエア)、またはステロイド吸入が中心		
【慢性閉塞性肺疾患(COPD)】	[気管支拡張薬]			副交感神経を抑制して気管支を拡張する β_2 受容体に作用して気管支を拡張
	抗コリン薬 (吸入)	イプラトロピウム臭化物水和物 チオトロピウム臭化物水和物	アトロベントエロゾル スピリーバ	
	β_2 刺激薬 (吸入/経口/添付)	サルメテロールキシナホ酸塩	セレベント	平滑筋を弛緩させて気管支を拡張
	キサンチン誘導体	テオフィリン	テオドール	
	ステロイド (吸入/内服)	ベクロメタゾンプロピオン酸エステル フルチカゾン プロピオン酸エステル プレドニゾン	キュバール フルタイド プレドニン	抗炎症作用により、分泌物を抑制
去痰薬 抗菌薬	カルボシステイン	ムコダイン	痰を出しやすくする 気道の感染症の予防	
		*COPDの場合、ステロイドの単独吸入は行わない →必要時、合剤であるアドエア 250 ディスカスを吸入する。		

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
下痢、アレルギー発症	歯科治療前に、感染性心内膜炎予防目的で AMPC（アモキシシリン）の大量投与施行

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
β 刺激薬使用者は局所麻酔薬に添加されているアドレナリンにより、動悸、頻脈、不整脈が生じる場合がある。	<p>①喘息重症度の把握</p> <p>②発作時の吸入薬等の準備</p> <p>③誘発因子</p> <p>歯科薬品や材料の刺激臭によって発作を誘発する可能性があるため、吸引しながらの診療をおこなう。</p> <p>④アスピリン喘息の禁忌</p> <p>アセトアミノフェン（カロナール）は喘息患者には比較的安全だが、アスピリン喘息には禁忌なので注意が必要。</p> <p>⑤易感染性</p> <p>ステロイド長期投与患者は感染しやすいので、観血処置前に抗菌薬での予防が必要な場合もある、</p>
口渇、動悸、味覚障害	<p>①病歴、現在の病状、薬の種類把握</p> <p>②治療時間等の工夫</p> <p>体調のよい時間、長時間の治療にならないよう工夫</p> <p>③治療中の呼吸苦が生じる場合は体位の工夫、休憩をとりながら等の配慮が必要</p> <p>気管カニューレで酸素吸入している場合は注意が必要</p>
まれに肝機能障害・悪心	

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能
【間質性肺炎】	ステロイド 免疫抑制剤	プレドニゾン シクロスポリン	プレドニン ネオーラル	抗炎症作用、免疫抑制作用
【肺塞栓症】	抗凝固剤	ワルファリンカリウム	ワーファリン	血液凝固防止作用

3. 消化器疾患

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能
【胃・十二指腸潰瘍】	胃酸分泌抑制 薬（プロトンポン プ阻害薬） H ₂ ブロッカー 胃粘膜保護薬	オメプラゾール ランソプラゾール ラベプラゾールナトリウム ラニチジン塩酸塩 ファモチジン スクラルファート アズレンスルホン酸ナトリウム等	オメプラール オメプラゾン タケプロン パリエット ザンタック ガスター アルサルミン マーズレンS	胃酸分泌にかかわる「プロトンポン プ」に作用し、胃酸の分泌を抑制す る。 胃酸及びペプシンの分泌をおさえ、 胃炎や潰瘍の痛みもやわらげる。鎮 痛薬など他の薬による胃の荒れを 防ぐのにも用いる。 胃の粘膜を保護して、胃炎や胃潰瘍 の治りをよくし、鎮痛薬など他の薬 による胃の荒れを予防。
【ウイルス性肝炎】	抗ウイルス薬	インターフェロン ラミブジン リバビリン (インターフェロンと併用)	ペグイントロン ペガシス スミフェロン ゼフィックス レベトールカプセル	ウイルスや細菌の増殖を抑えたり、 がん細胞を攻撃したりするナチュ ラルキラー細胞を活性化する働き がある。 B型肝炎ウイルスに直接作用し、そ の増殖をおさえる。 C型肝炎ウイルスに有効
【肝硬変】		ウルソデオキシコール酸	ウルソ	GOT, GPTの値を下げる

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
大量投与により、易感染性、創傷の治癒遅延	COPDと同様 ステロイド長期投与患者は感染しやすいため、観血処置前の抗菌薬の予防投与が必要な場合もある。
	長期間寝たきりの高齢者の場合、体位変換やいきみによる肺血栓塞栓をきたすおそれがあるので、歯科診療時の体位変換やむせに注意。 ワルファリンカリウム常用者は出血への対応の準備。 伝達麻酔は禁忌。

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
まれに肝機能値の異常、頭痛やめまい、軟便、下痢	
発熱、筋肉痛、吐き気、気分の落ち込み、不眠、脱毛など	<p>【歯科治療時の感染予防策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スタンダードプリコーションの徹底 ②医療従事者のHBワクチン接種 ③手袋、マスク、防護用メガネ ④可能な限り使い捨て器具の使用 ⑤刺傷事故への注意 ⑥血液や唾液の飛散を最小限にする。
軟便、下痢、吐き気、食欲不振、胸やけ (重篤な場合)間質性肺炎	<ul style="list-style-type: none"> ①凝固系の検査値の把握 ②低アルブミン血症、易感染性の対応 ③歯科からの投薬は有効最小量を短期間投与する。

4. 血液疾患

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能
【白血病】	抗がん剤	シタラビンオクホスファート水和物 メルカプトプリン水和物	スタラシド ロイケリン	がん細胞の分裂増殖防止
	*注射剤が主	メトトレキサート ダウノルビシン塩酸塩 シクロフォスファミド水和物 ビンクリスチン硫酸塩 プレドニゾン インターフェロン イマチニブメシル酸塩	メソトレキセート ダウノマイシン エンドキサン オンコビン プレドニン グリベック	
【再生不良性貧血】	ステロイド	プレドニゾン	プレドニン	抗炎症作用、抗アレルギー作用、免疫抑制作用
	免疫抑制剤	シクロスポリン	ネオーラル	

5. 腎泌尿器疾患

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能
【ネフローゼ症候群】	ステロイド	プレドニゾン	プレドニン	抗炎症作用、抗アレルギー作用、免疫抑制作用
	免疫抑制剤	シクロホスファミド水和物	エンドキサン	
	血液凝固阻止剤	ワルファリンカリウム	ワーファリン	血液凝固防止作用
	抗血小板剤	ジピリダモール	ペルサンチンL	血小板凝集抑制作用

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
骨髄抑制、悪心、嘔吐 骨髄抑制、粘膜障害 骨髄抑制、心筋障害、脱毛 骨髄抑制脱毛、出血性膀胱炎 末梢神経障害、麻痺性イレウス 糖尿病、免疫不全症 うつ病、肝障害 悪心、皮膚発疹、白血球減少	著しい免疫不全、出血傾向を伴うことが多いため、口腔ケアは重要であるが、臨床検査値(白血球数・顆粒球数・血小板数)を参考にして、現在どの程度のケアが必要で可能であるかを主治医、歯科医師等と連携を十分にとり、検討しながら進める必要がある。
感染症、糖尿病、緑内障、骨粗鬆症、消化性潰瘍等 感染症、肝・腎障害等	貧血の原因を確認 貧血に伴う、めまい、呼吸困難がないか、治療中の姿勢について確認する。舌炎、舌萎縮、口角炎、飲み込みにくいなどの症状の確認 易感染性、出血傾向、歯肉出血に注意

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
消化管潰瘍、感染症、糖尿病、精神障害、副腎不全、緑内障、白内障、骨壊死 口唇のただれ 狭心症状の悪化、出血傾向	出血傾向、易感染性、創傷治癒の遅延に注意する。 腎機能障害により、薬が効きすぎる等の問題が生じることもあるので、歯科からの投薬は注意が必要。 抗菌薬：ペニシリン系、セフェム系、マクロライド系は比較的安全 テトラサイクリン系、アミノグリコシド系は腎毒性があるため、禁忌 鎮痛薬にも腎毒性が強いものが多く、非ステロイド性抗炎症薬、サリチル酸系（アスピリン）は使用禁忌。腎毒性が比較的弱い鎮痛剤はプロピオン酸系のイブプロフェン（ブルフェン）など 透析を受けている場合は、透析翌日に治療する 抗凝固療法が行われている場合は出血傾向に注意が必要

6. 自己免疫疾患

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能
【関節リウマチ】	非ステロイド性 抗炎症薬	酸性薬剤 ロキソプロフェンナトリウム水和物	ロキソニン	対症療法薬（鎮痛、抗炎症作用）
	抗リウマチ薬	ナプロキセン ブシラミン サラゾスルファピリジン メトトレキサート	ナイキサン リマチル アザルフィジンEN リウマトレックス *投与量、投与日等 注意!!	
	ステロイド	プレドニゾロン	プレドニン	
	免疫抑制剤	ミゾリビン アザチオプリン	ブレディニン イムラン	
【シェーグレン症候群】	口腔内乾燥症改善薬	セビメリン塩酸塩水和物 ピロカルピン塩酸塩 精製ヒアルロン酸ナトリウム	サリグレン エボザック サラジェン ヒアレイン点眼液 ジクアソル ナトリウム	対症療法薬
	角膜乾燥症・ドライアイ治療薬	ジクアホソル ナトリウム	液ジクアス点眼液	
【ベーチェット病】	ステロイド	プレドニゾロン	プレドニン	
	免疫抑制剤	シクロスポリン コルチヒン	サンディミュン ネオーラル コルチヒン	

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
<p>胃潰瘍</p> <p>皮疹、腎障害、造血障害</p> <p>感染症、骨粗鬆症、消化性潰瘍、糖尿病、 高血圧等</p> <p>免疫抑制剤共有副作用：感染症</p>	<p>関節の痛みやこわばりは朝（午前中）に発生するため、歯科診療は午後に実施することが適している。</p> <p>診療時のヘッドレストや体位の変更に注意する。顎関節に症状がある場合は特に注意が必要</p> <p>抗炎症薬の重複に注意</p> <p>骨粗鬆症の予防薬としてビスホスホネートを投与されている場合の外科処置は注意が必要</p>
	<p>口腔乾燥に対する治療が必要</p> <p>唾液が減少するため、う蝕、歯周病にかかりやすくなるため、口腔ケアが重要。</p> <p>口腔乾燥作用を持つ薬剤を服用しているときはこれを中止するよう、主治医との相談が必要。</p>
<p>骨粗鬆症、高血圧、高脂血症、糖尿病、 感染症、抜歯窩治癒不全、 歯肉増殖症、感染症、腎機能障害、 下痢、月経異常、乏精子症</p>	<p>抜歯やスクレーリングの観血処置には十分注意が必要。感染予防のため、局所の消毒を徹底すること。症状により薬の処方が違うので、それぞれの副作用に注意が必要。</p>

7. 内分泌・代謝疾患

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能
【糖尿病】	スルホニル尿素薬	グリベンクラミド	ダオニール オイグルコン	血糖降下
	ヒグアナイド薬	グリメピリド	アマリール	
		グリグラジド	グリミクロン	
		メトホルミン塩酸塩 *肝・腎障害禁忌	メルピン メデット	
	αグルコシダーゼ阻害薬	アカルボース	メトグルコ グルコバイ	
	インスリン抵抗性改善薬	ボグリボース	ベイスン	
	即効性インスリン分泌促進薬	ピオグリタゾン塩酸塩	アクトス	
		ナテグリニド	スターシス ファスティック	
【甲状腺機能障害】	[甲状腺機能亢進症] 抗甲状腺治療薬	チアマゾール プロピルチオウラシル	メルカゾール チウラジール	甲状腺ホルモンの合成をおさえて、その分泌を減らす
	放射線治療	放射性ヨード		
	[甲状腺機能低下症] 合成甲状腺ホルモン薬	T ₄ リオチロニンナトリウム レボチロキシンナトリウム	チロナミン チラーヂンS	
	[副腎皮質機能障害] ステロイド	プレドニゾン	プレドニン	

8. 脳神経疾患

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能
【脳梗塞】	抗血小板薬	アスピリン	バイアスピリン バファリン	再発防止 脳梗塞後遺症に伴う不安感、行為感、興奮状態をしずめる薬
	抗凝血薬	チクロピジン塩酸塩	パナルジン	
		ワルファリン カリウム	ワーファリン	
	脳循環代謝改善薬	ニセルゴリン	サアミオン	
	塩酸チアプリド	メクロフェノキサート塩酸塩 チアプリド塩酸塩	ルシドリール グラマリール	

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
低血糖発作、貧血、肝障害 消化管系副作用 (下痢、食欲不振、悪心、金属味) 下痢、腹部膨満 浮腫(むくみ) 低血糖	①糖尿病コントロールの把握 低血糖を起こす可能性があるため、食事前の予約は避ける。 ②易感染性に注意。いったん感染すると慢性化、難治化する。 ③腎障害のある場合、腎排泄性の薬剤は避ける。 ④神経障害のある場合は起立性低血圧を起こしやすいので体位の変更はゆっくり行う。 ⑤様々な合併症を有していることが多いので、病歴の聴取をしっかりとこなう。
薬物アレルギー、顆粒球減少症 皮膚搔痒感、じんましん、関節痛	①甲状腺機能障害 甲状腺ホルモン値(T_3 , T_4 , TSHなど)の把握、体調の確認が重要 ②甲状腺機能亢進症 歯科処置によるストレスや局麻のアドレナリンによって急激に悪化する(甲状腺クリーゼ)ことがあるので、注意が必要。 ③甲状腺中毒症状 抗甲状腺薬の大量投与や無機ヨードの投与がある場合は、イソジンガーグルやJGパスタの使用は慎重に行う。(主治医に相談する) ④甲状腺機能低下症 副腎機能不全を起こしている場合は抗菌薬の投与が必要な場合がある。

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
	脳梗塞の患者の治療は急性期以降になるが、発症日や後遺症によるADLの状態、合併症や高血圧や不整脈等の有無を把握する。 失語や意識障害がある場合は家族や主治医との連携も必要になる。

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能
【脳出血・くも膜下出血】	血圧降下剤			高血圧のコントロール
	脳循環代謝改善薬	ニセルゴリン メクロフェノキサート塩酸塩	サアミオン ルシドリール	
【パーキンソン病】	レボドパ含有製剤	レボドパ	ドパストン ドパゾール	ふるえやこわばりなどの症状を改善
	レボドパ・DCI 配合薬	レボドパ・ベンセラジド塩酸塩	イーシー・ドパー ル配合錠 マドパー	
	ドパミン作動薬	プロモクリプチンメシル酸塩 ペルゴリドメシル酸塩	パーロデル ペルマックス	
	MAO-B阻害薬	セレギリン塩酸塩	エフピー	
	末梢COMT阻害薬	エンタカボン	コムタン	
	ゾニサミド製剤	ゾニサミド	トレリーフ	
	抗コリン薬	トリヘキシフェニジル塩酸塩 ビペリデン塩酸塩	アーテン アキネトン	
	ドパミン放出促進薬	アマンタジン塩酸塩	シンメトレル	
	ノルアドレナリン系製剤	ドロキシドパ	ドプスカプセル	
	【脊髄小脳変性症】	[失調症状に対する改善薬]		
甲状腺ホルモン分泌ホルモン		プロチレリン酒石酸塩水和物 タルチレリン水和物	ヒルトニン セレジスト	
ドパミン作動薬		プロモクリプチンメシル酸塩	パーロデル	
レボドパ含有製剤		レボドパ	ドパストン	

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
	<p>①ADLの確認と介助 麻痺の程度により、ユニットへの移乗など、必要な介助を行う必要がある。</p> <p>②口腔内の運動・知覚麻痺 口腔内にも麻痺がある場合もあるため、本人が異常に気付いていないこともあるので注意が必要。</p> <p>③観血処置の注意 本人の意思で圧迫止血が出来ない場合もあるため、注意が必要。抗血小板薬や血液凝固阻止薬の使用がある場合も注意する。</p> <p>④摂食・嚥下障害への対応 誤嚥のリスクがあるため、注意が必要。</p> <p>⑤コミュニケーション 失語症等の場合、痛みや希望が伝えきれていない場合があるが、ゆっくり話すことで可能な場合もあるので、配慮する。</p>
<p>口、顔、腕、脚の不随意運動、悪夢、幻覚、血圧の変化 悪心や嘔吐、口渇、食欲不振 「オンオフ現象」といわれる薬が効いている時と効いていない時が起こることがある。</p>	<p>動作をうまくコントロールできないため、急がせずに動作が終了するまで待つことが必要。 抑うつ傾向がある場合には声掛けも必要。 パーキンソン病の65～100%に嚥下障害が出現するという報告もあり、治療中には吸引を十分に行う必要がある。 抗コリン薬は唾液の分泌を低下させ、口渇を生じる場合がある。</p>
<p>脈拍の変動や顔面の潮紅感、悪心、尿意 悪心や嘔吐、口渇、食欲不振</p>	<p>①自律神経障害：急激な循環不全や呼吸不全の可能性はある。局麻含有のアドレナリンによって急激な血圧上昇や頻脈を起こすことがあるため、モニタリングが必要。 起立性低血圧を起こす可能性があるため、ユニットの背板を起こすときや終了時には注意が必要。</p> <p>②嚥下障害への対応：治療中の吸引に注意が必要。</p> <p>③口腔衛生指導：運動障害や自律神経障害の程度に合わせた治療計画が必要。家族等との連携での口腔衛生管理が必要な場合もある。</p>

	薬の分類	一般名	代表的医薬品名	効能
【委縮性側索硬化症(ALS)】	グルタミン酸拮抗剤	リルゾール	リルテック	神経細胞を保護して、病状の進行を遅らせる。

9. 精神神経疾患

	よく使われる薬	一般名	代表的医薬品名	効能
【統合失調症】	[抗精神病薬] フェノチアジン系 ブチロフェノン系 SDA、MARTA、DSS ベンザミド系 塩酸チアプリド	クロルプロマジン塩酸塩 レボメプロマジン マレイン酸塩 ハロペリドール リスペリドン スルピリド チアプリド塩酸塩	ウインタミン レボトミン セレネース リスパダール ドグマチール グラマリール	心の不調や不具合を調整する。神経の高ぶりや不安感をしずめ、気持ちをおだやかにすえる。
【うつ・躁うつ病】	SSRI (選択的セロトニン再取り込み阻害薬) SNRI (セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬) 三環系抗うつ薬 (第一世代) 三環系抗うつ薬 (第二世代) 四環系抗うつ薬	フルボキサミン マレイン酸塩 パロキセチン塩酸塩 ミルナシプラン塩酸塩 アミトリプチリン塩酸塩 イミプラミン塩酸塩 クロミプラミン塩酸塩 アモキサピン ロフェプラミン塩酸塩 マプロチリン塩酸塩 ミアンセリン塩酸塩	ルボックス デプロメール パキシル トレドミン トリプタノール トフラニール アナフラニール アモキササンカプセル アンプリット ルジオミール テトラミド	憂うつな気分をやわらげ、意欲を高める。
【認知症】	AChE 阻害薬 脳循環代謝改善薬 その他	ドネペジル塩酸塩 ニセルゴリン トコフェロール酢酸エステル 結合型エストロゲン	アリセプト サアミオン ユベラ プレマリン	アセチルコリンを分解するアセチルコリンエステラーゼという酵素の働きを妨害して脳内のアセチルコリンを増やし、神経間の伝達をスムーズにする。 脳の血流、エネルギー代謝を改善 ビタミンE補給 女性ホルモン

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
吐き気、めまい、頭痛、眠気、肝機能値の異常	

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
	<p>病気に伴う理解力の不十分さにより、予約を厳守しないことがある。 観血処置の禁忌：顆粒球減少が高度の場合は注意が必要 主症状に留意し、診療説明は本人と家族などに事前に十分に理解してもらうことが必要になる。</p>
	<p>現症、治療内容の把握。 精神科での治療を受けている場合は治療内容等を把握する。 うつ病のサイン(自信喪失、不安、吐き気、腹痛、おっくうになる、仕事を休む、めまいなど)に留意。 自殺企画の経験や家族に自殺者がいる場合は自殺の危険性が高いため、心理的配慮が必要。 個性を尊重し、まじめで責任感が強い、頑張りすぎてストレスを溜めている場合が多かったりするので、それぞれの接し方に注意する。家族への診療説明も必要。</p>
	<p>①既往歴の把握 ②対応能力の限界の理解 ③徘徊による転倒 ④うつ症状の合併 ⑤幻覚・妄想 ⑥行動制限 などその人、その時期(時間)にあった対応が必要。 脳血管性認知症の場合は抗凝血薬等の使用があるため、止血管理に注意。</p>

10. その他

	よく使われる薬	一般名	代表的医薬品名	効能
【HIV感染症】	ヌクレオシド系逆転写酵素阻害薬 非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害薬 プロテアーゼ阻害薬 インテグラーゼ阻害薬 侵入阻害薬 抗菌・抗原虫薬 抗サイトメガロウイルス薬 抗真菌薬	ジドブジン エファビレンツ インジナビル硫酸塩エタノール付加物 ラルテグラビル カリウム マラビロク ST合剤 バルガンシクロビル塩酸塩 アムホテリシン B	レトロビルカプセル ストックリン クリキシバンカプセル アイセントレス シーエルセントリ バクタ、バクトラミン バリキサ ファンギゾンシロップ	エイズウイルスの増殖をおさえる抗ウイルス薬
【アレルギー疾患】	抗アレルギー薬（ヒスタミンH1拮抗薬）	フマル酸ケトチフェン（内用） メキタジン オキサトミド	ザジテン ゼスラン セルテクト	ヒスタミンをおさえることで、各種のアレルギー症状を改善
【婦人科疾患】	女性ホルモン薬	結合型エストロゲン	プレマリン	卵胞ホルモンを補う薬。おもに更年期障害の治療に使用
【骨粗鬆症】	活性型ビタミンD 卵胞ホルモン薬(エストロゲン) 選択的エストロゲン受容体調整薬 ビスホスホネート ビタミンK2 イプリフラボン製剤 カルシトニン（注射）	アルファカルシドール エストリオール ラロキシフェン塩酸塩 アレンドロン酸ナトリウム水和物 リセドロン酸ナトリウム水和物 ミノドロロン酸水和物 エチドロロン酸二ナトリウム メナテトレノン イプリフラボン エルカトニン サケカルシトニン	ワンアルファ アルファロール エストリール エビスタ フォサマック、ボナロン アクトネル、ベネット ボノテオ、リカルボン ダイドロネル ケイツー、グラケー オステン エルシトニン サーモトニン カルシトニン	ビタミンDを補いカルシウムの吸収を助ける。女性ホルモンの卵胞ホルモン（エストロゲン）と同様に作用して、骨のカルシウム分が血液に溶け出すのを防ぐ。骨に付着して、骨のカルシウム分が血液に溶け出すのを防ぐ。

薬の副作用	歯科診療上の注意点と対応
<p>骨髄抑制にともなう血液障害。白血球や赤血球、血小板などが異常に減少。ひどいだるさ、皮下出血など出血傾向、発熱やのどの痛み、顔色が青白いといった症状に注意</p>	<p>①HIV の初期症状として、口腔カンジダ症などが口腔内に発症するため、注意が必要。</p> <p>②HIV 感染者であっても、無症候期であれば歯科治療は可能であるが、副作用等に注意が必要。</p> <p>③感染対策はスタンダードプリコーションに準じて徹底する。</p> <p>④プロテアーゼ阻害薬(血友病)による出血傾向には注意が必要。</p> <p>⑤免疫状態の把握</p>
<p>眠気、けん怠感</p>	
<p>乳房の張りや痛み、予定外の出血、吐き気や嘔吐</p>	
<p>高カルシウム血症 乳房の張り、ほてり、吐き気</p>	<p>ビスホスフォネートの長期服用時の抜歯後には、抜歯により傷ついた顎骨がうまく修復できず壊死してしまうことがあるので、嚴重な注意が必要。</p> <p>顎骨壊死・顎骨骨髓炎、歯の奥の痛み、あごの腫れ・痛み、うみが出る、抜歯など歯科治療後に腫れや痛みが続くなどの危険があるため、どうしても外科処置を行わなければならない際には、主治医と相談の上、休薬を検討する場合がある。</p>

11. 口腔乾燥症を引き起こす可能性がある薬剤（主なもの）

種 類	主な一般名	主な製品名
抗不安剤	ニトラゼパム プロマゼパム クロキサゾラム ジアゼパム	ベンザリン レキソタン セパゾン セルシン ホリゾン
抗パーキンソン病剤	塩酸プラミペキソール水和物 塩酸トリヘキシフェニジル プロフェナミン カベルゴリン 塩酸マザチコール エンタカボン	ビ・シフロール アーテン パーキン カバサール ペントナ コムタン
抗うつ薬、抗精神病薬	塩酸イミプラミン 塩酸メチルフェニデート モダフィニル 塩酸セルトラリン 塩酸アミトリプチリン 塩酸パロキセチン水和物 塩酸ミルナシبران マレイン酸フルボキサミン 塩酸ドスレピン アモキサピン 塩酸ロフェプラミン	トフラニール コンサータ リタリン (第1種向精神薬) モディオダール (第1種向精神薬) ジェイゾロフト トリプタノール パキシル トレドミン デプロメール ルボックス プロチアデン アモキサン アンプリット
鎮痙薬（抗コリン薬）	臭化プロパンテリン配合剤 臭化チキジウム 臭化ブチルスコポラミン 臭化ブトロピウム 臭化チメピジウム水和物	プロ・バンサイン チアトン ブスコパン コリオパン セスデン

種 類	主な一般名	主な製品名
吸入用抗コリン薬	臭化チオトロピウム水和物	スピリーバ アトロベント
角化症治療薬	エトレチナート	チガゾン・催奇形性
抗癌剤	ソラフェニブトシル酸 テモゾロミゾ ダサチニブ レトロゾール	ネクサバル テモダール スプリセル フェマーラ
アレルギー用剤	マレイン酸クロルフェニラミン ベシル酸ペポタスチン	ポララミン タリオン
抗ウイルス薬	リバビリン リトナビル	コペガス レベトール ノービル
不整脈用剤	塩酸アプリンジン ジソピラミド 塩酸プロプラノロール	アスペノン リスモダン インデラル
抗てんかん剤	カルバマゼピン	テグレトール（重症薬疹も多発）
片頭痛治療剤	ゾルミトリプタン 臭化水素酸エレトリプタン 安息香酸リザトリプタン	ゾーミッグ レルパックス マクサルト
鎮咳剤	リン酸ベンプロペリン	フラベリック
解熱鎮痛消炎剤	ペンタゾシン インドメタシン	ソセゴン インテバン
降圧剤	メチルドパ	アルドメット

知っておきたい検査データ

■:男性 ●:女性

検査項目	基準値	異常値をとる疾患・病態
------	-----	-------------

【身体測定】

身長 体重 BMI(体格指数) 腹囲	標準体重: BMI 22 *BMI=体重(kg) ÷身長(m) ²	肥満に関連する健康障害: 糖尿病(2型)、耐糖機能障害、脂質代謝異常(高脂血症)、高血圧、高尿酸血症、痛風、脂肪肝、冠動脈疾患(心筋梗塞、狭心症)、脳梗塞(脳血栓、一過性脳虚血発作)、骨代謝異常など
-----------------------------	--	---

【血圧測定】

最高(収縮期)血圧 最低(拡張期)血圧	最高血圧140mmHg未満 最低血圧90mmHg未満	高血圧による合併症: 動脈硬化、脳梗塞、冠動脈疾患など
------------------------	-------------------------------	-----------------------------

【血液検査・血液学】

赤血球数(RBC)	■:430万~554万/ μ L ●:374万~495万/ μ L	↑:真性多血症、脱水、ストレス、二次性多血症 ↓:貧血、白血病、悪性腫瘍、出血
ヘモグロビン(Hb)	■:13.8~16.9 g/dL ●:12~15 g/dL	
ヘマトクリット(Hct)	■:40.8~49.6 % ●:34~45.3 %	
MCV (平均赤血球容積)	■:84~100.4 fL ●:82.5~97.4 fL	↑:大球性貧血 ↓:小球性貧血
MCHC (平均赤血 ヘモグロビン濃度)	31.8~35 %	↓:低色素性貧血
白血球数(WBC)	3600~9300 / μ L	↑:感染症、心筋梗塞、白血病、真性多血症、出血 ↓:全身性エリテマトーデス、白血病、無顆粒球症、悪性貧血、再生不良性貧血、骨髄線維症、薬剤副作用、腸チフス
血液像 (白血球分画)	好中球:41.7~74.1 % 好酸球:0.6~8 % 好塩基球:0~1.5 % 単球:3.6~8.5 % リンパ球:18.9~47.7 %	増加:感染症や炎症、心筋梗塞や慢性骨髄性白血病など 増加:花粉症や喘息など 増加:慢性骨髄性白血病など 増加:結核などの感染症、膠原病など 増加:ウイルス感染症、リンパ性白血病など
血小板数(PLT)	12万~41万 / μ L	↑:本態性血小板症、真性多血症、出血 ↓:突発性血小板減少性紫斑病、肝硬変、抗がん剤使用、骨髄異形成症候群
出血時間	1~5 分	延長:再生不良性貧血、白血病、突発性血小板減少症、DIC
プロトロンビン時間 PT% PT-INR	10~13 秒 70~140% 1.0 INR	延長:肝硬変、急性肝炎、肝がん、DIC、ワーファリン投与、ビタミンK欠乏症 抗凝固療法では2.0以上にコントロールされている
赤沈(血沈)	■:2~10 mm/時 ●:3~15 mm/時	速度が速い場合:感染症や貧血、膠原病、がんなど

【血液検査・生化学】

空腹時血糖	60~110 mg/dL	↑:糖尿病、肝疾患、脳障害
HbA1c	4.3~5.8 %	↑:糖尿病のコントロール不良
総コレステロール (T-CHO)	130~220 mg/dL	↑:原発性・続発性コレステロール血症、胆道閉鎖症、甲状腺機能低下症、ネフローゼ症候群、悪性腫瘍 ↓:家族性コレステロール血症、甲状腺機能亢進症、肝障害
LDL(悪玉) コレステロール	70~140 mg/dL	↑:家族性高コレステロール血症、甲状腺機能低下症、痛風、ネフローゼ症候群 ↓:肝硬変、悪液質、甲状腺機能亢進症、慢性感染症、栄養障害
HDL(善玉) コレステロール	■:31~78 mg/dL ●:47~102 mg/dL	↑:家族性高HDLコレステロール血症、CETP欠損症 ↓:高リポタンパク血症、虚血性心疾患、脳梗塞、肥満症、喫煙

中性脂肪(TG)	26~149 mg/dL	↑:高脂血症、肥満、肝胆道疾患、甲状腺機能低下症、糖尿病 ↓:甲状腺機能亢進症、副腎不全、肝硬変、低栄養
AST(GOT)	13~35 IU/L	↑:急性肝炎、心筋梗塞、肝硬変
ALT(GPT)	8~48 IU/L	↑:急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝がん、脂肪肝
γ-GTP	■:7~60 IU/L ●:7~38 IU/L	↑:アルコール性肝炎、閉塞性黄疸、薬剤性肝炎
ALP (アルカリフォスファターゼ)	86~252 IU/L	↑:肝胆道疾患、骨疾患、副甲状腺機能亢進症、妊娠、小児
総ビリルビン (T-BIL)	0.3~1.2 mg/dL	↑:肝炎、肝硬変、肝がん、胆石症、溶血性貧血
血清総たんぱく (TP)	6.6~8.1 g/dL	↑:炎症、脱水、多発性骨髄腫など ↓:低栄養、吸収不良症候群、肝障害、ネフローゼ症候群、火傷
血清アルブミン (ALB)	4.1~4.9 g/dL	↑:脱水 低値:肝硬変、ネフローゼ症候群、吸収不良症候群、低栄養
コリンエステラーゼ (ChE)	172~457 IU/L	↑:ネフローゼ症候群、糖尿病性腎炎 ↓:肝硬変、劇症肝炎、農薬中毒
ZTT (血清膠質反応)	1~10 U	↑:慢性肝炎、肝硬変、肝がん、多発性骨髄腫
尿酸(UA)	■:4~7.0 mg/dL ●:2.5~5.6 mg/dL	↑:痛風、悪性腫瘍、白血病
血清アミラーゼ (AMY)	Somogyi法:50~180 U Blue-Starch法: 130~400 IU/L	↑:急性膵炎、慢性膵炎、膵がん、イレウス、耳下腺炎
血清リパーゼ(LIP)	4~261 U/L	↑:急性膵炎、慢性膵炎、膵がん、イレウス、腎不全
血清尿素窒素 (BUN)	7~19 mg/dL	↑:腎不全、腎炎、心不全、脱水、消化管出血、ショック
血清クレアチニン (CRE)	■:0.7~1.1mg/dL ●:0.5~0.8mg/dL	↑:腎炎、腎不全、脱水、巨人症、甲状腺機能亢進症
ナトリウム(Na)	138~146 mEq/L	↑:脱水、下痢、発汗、尿崩症、原発性アルドステロン症 ↓:浮腫、クッシング症候群、降圧利尿薬使用、嘔吐、下痢、ADH不適切分泌症候群
カリウム(K)	3.7~5.0 mEq/L	↑:腎不全、頻尿、脱水 ↓:降圧利尿薬使用、原発性アルドステロン症、クッシング症候群
クロール(塩素) (Cl)	99~107 mEq/L	↑:脱水、下痢、代謝性アシドーシス、呼吸性アルカローシス ↓:嘔吐、腎不全、代謝性アルカローシス、糖尿病性ケトアシドーシス
カルシウム(Ca)	9.2~10.7 mg/dL	↑:副甲状腺機能亢進症、異所性PTH産生腫瘍、骨髄腫、骨腫瘍、バセドウ病、成人T細胞白血病、悪性腫瘍、ビタミンD過剰 ↓:副甲状腺機能低下症、骨軟化症、低アルブミン血症、腎不全
鉄(Fe)	■:50~200 μg/dL ●:40~180 μg/dL	↑急性肝炎、再生不良性貧血、急性白血病、鉄芽球形貧血 ↓:鉄欠乏性貧血、感染症、膠原病、悪性腫瘍
リン(P)	2.8~4.8 mg/dL	↑:腎不全、ビタミンD中毒、巨人症、副甲状腺機能低下症 ↓:副甲状腺機能亢進症、骨軟化症、くる病、尿細管性アシドーシス
亜鉛(Zn)	80~160 μg/dL	↑:内分泌疾患、血液疾患 ↓:低栄養、口内炎、下痢、嘔吐、味覚障害
CRP (C反応性たんぱく)	0.3 mg/dL 以下	↑:急性・慢性感染症、膠原病、悪性腫瘍、血栓症、梗塞性疾患
梅毒血清反応(STS) ガラス板法、RPR法	陰性(定性) 1倍未満(定量)	陽性:梅毒、生物学的擬陽性反応(妊娠、結核、異型肺炎、全身性エリテマトーデス、ハンセン病、ウイルス肝炎など) ガラス板法で陽性の場合にはTPHA法を併せて行う必要あり
HA抗体 (A型肝炎ウイルス抗体)	陰性	陽性:A型肝炎

HBs抗原 (B型肝炎ウイルス抗原)	陰性	陽性: B型肝炎、キャリア
HBs抗体 (B型肝炎ウイルス抗体)	陰性	陽性: B型肝炎の既往、B型肝炎のウイルスワクチン接種
HCV抗体 (C型肝炎ウイルス抗体)	陰性	陽性: C型肝炎
HIV抗体 (エイズウイルス抗体)	陰性	陽性: エイズ

【腫瘍マーカー】(日本臨床検査標準協議会(JCCLS)に準ずる)

PSA	4.0 ng/mL 以下	高値の場合前立腺がんの疑い
CEA	5.0 ng/mL 以下	消化器がんを中心にした腫瘍マーカー
CA72-4	4.0 U/mL 以下	
DUPAN-2	150 U/mL 以下	膵臓がんをはじめとする各種消化器がんを中心にした腫瘍マーカー
CA19-9	37 U/mL 以下	
AFP	10 ng/mL 以下	肝臓がんを中心にした腫瘍マーカー
SCC	1.5 ng/mL 以下	肺がんを中心にした腫瘍マーカー
NSE	10.0 ng/mL 以下	
CA-125	35 U/mL 以下	卵巣がんを中心にした腫瘍マーカー

【尿】

尿たんぱく	(-)~(±)	陽性: 腎炎、ネフローゼ症候群、発熱、過労、腎下垂症
尿潜血反応	(-)	陽性: 腎・尿経路の炎症、結石、腫瘍、出血性素因、腎臓外傷
尿糖	(-)	陽性: 糖尿病、腎性糖尿、ステロイド服用、膵炎、脳出血、妊娠
尿ウロビリノーゲン	(±)~(+)	陽性: 肝障害、血管内溶血、体質性黄疸、便秘

【血液ガス】

動脈血O ₂ 分圧 (PaO ₂)	80~100 (Torr, mmHg)	↑: 慢性閉塞性肺疾患、窒息、呼吸筋障害、喘息重発作 ↓: 貧血、低濃度酸素吸入、ヘモグロビン異常症
---	------------------------	---

【メタボリックシンドローム診断基準】(H23.3現在)

内臓脂肪蓄積

ウェスト周囲径	■: 85cm以上 ●: 90cm以上
---------	------------------------

プラス 下記 2項目以上

血清脂質異常	血圧高値	高血糖
中性脂肪 150mg/dL以上	最高血圧 130mmHg以上	空腹時血糖 110mg/dL 以上
HDLコレステロール 40mg/dL未満	最低血圧 85mmHg以上	もしくは HbA1c 5.5% 以上

【付録】

慢性歯周炎関係病原微生物

<i>Porphyromonas gingivalis</i>	ポルフィロモナス・ジンジバリス
<i>Prevotella intermedia</i>	プレボテラ・インターメディア
<i>Fusobacterium nucleatum</i>	フソバクテリウム・ヌクレアータム
<i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i>	アグレガチバクター・アクチノミセテムコミタンス
<i>Tannerella forsythensis</i>	ターネレラ・フォーサイセンシス
<i>Campylobacter rectus</i>	カンピロバクター・レクタス
<i>Treponema species</i>	口腔トレポネーマ 口腔スピロヘータ

齧蝕病原性細菌

<i>Streptococcus mutans</i>	ミュータンスレンサ球菌(群) ミュータンス菌
-----------------------------	------------------------

<i>Streptococcus sobrinus</i>	ミュータンスレンサ球菌(群) ソブリナス菌
<i>Streptococcus sanguinis</i>	口腔(内)レンサ球菌 ミティス菌群 サンギウスレンサ球菌
<i>Actinomyces viscosus</i>	口腔内放線菌 ビスコサス菌
<i>Actinomyces naeslundii</i>	口腔内放線菌 ナエスランディイ菌
<i>Lactobacillus acidophilus</i>	乳酸桿菌(群)

全身的な疾患と口腔内細菌との関連性

心内膜炎	<i>Streptococcus sanguinis</i> などの口腔レンサ球菌、 <i>Porphyromonas gingivalis</i> などの歯周病原性細菌
動脈硬化	<i>Porphyromonas gingivalis</i> や <i>Toreponema denticola</i> などの歯周病原性細菌
糖尿病	<i>Porphyromonas gingivalis</i> などの歯周病原性細菌
誤嚥性肺炎 老人性肺炎	<i>Porphyromonas gingivalis</i> などの歯周病原性細菌

日和見感染菌

<i>Haemophilus influenzae</i>	慢性気道感染症の急性増悪の原因菌 肺炎 小児の化膿性疾患
β 溶連菌(<i>S.pyogenes</i> 含む)	呼吸器感染症 化膿性炎症 咽頭炎 扁桃炎 敗血症
緑膿菌(<i>Pseudomonas aeruginosa</i>)	難治性感染症 院内感染の原因菌
肺炎球菌(<i>Streptococcus pneumoniae</i>)	肺炎
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	院内感染菌 呼吸器と尿路の感染症 ほとんど全ての部位での感染症
<i>Serratia marcescens</i>	尿路感染症や難治性肺炎
<i>Moraxella (Branhamella) catarrhalis</i>	呼吸器感染症 中耳炎 結膜炎
MRSA・MSSA (<i>Staphylococcus aureus</i>)	院内感染原因菌 難治性の感染症
<i>Candida albicans</i> ets	院内感染原因菌 あらゆる部位にカンジダ症発現

口腔機能関係値

呼吸	15回/分
脈拍	72回/分
唾液量	1~1.5 L/日
安静時唾液量	0.3 mL/分
耳下腺	0.073 mL/分
顎下腺	0.220 mL/分
舌下腺	0.012 mL/分
睡眠時	0.1 mL/分
刺激唾液量	1.5 mL/分
唾液PH	約5.8~7.1
血液PH	約7.2~7.4
胃液PH	約1.0~2.0
嚥下回数	585回/日
夜間睡眠中	7.5回/時間

咀嚼回数	620回/食事11分間	
咬合力	前歯	■:15Kg ●:10Kg
	臼歯	■:60Kg ●:40Kg
口唇力	水平圧	■:930g ●:720g
	垂直圧	■:350g ●:270g
口唇・口腔粘膜耐温度	60~65°C	
65歳以上 RSST	3回/30秒以上	
構音機能	パ	24回/5秒以上
	タ	24回/5秒以上
	カ	22回/5秒以上
開口度	2横指以上	

診療所歯科衛生士委員会

委員長 武藤 智美
委員 北村 浩美
委員 荒井恵美子
理事 山本 伸子
副会長 相川 敬子

発行日 平成23年6月1日

監修 社団法人日本歯科衛生士会
診療所歯科衛生士委員会

一戸 達也
東京歯科大学水道橋病院 病院長

発行 社団法人日本歯科衛生士会
〒169-0072
東京都新宿区大久保 2-11-19
電話 03-3209-8020

印刷所 大和綜合印刷株式会社